大学図書館利用実態調査回答集計･分析報告書(抄)

(2004 年 12 月調査)

2005 年 10 月 1 日

関西学院大学図書館

【1】はじめに

大学図書館では 2004 年 12 月に「大学図書館利用実態調査」を実施した。年末の慌ただしい時期の調査依頼にも関わらず、多くの学部生と大学院生の皆さんに有益な回答をいただいたことについて感謝申し上げる。

今回の調査の目的は自己点検・自己評価のための根拠となるデータを収集すること、および今後の利用サービス改善の手がかりとなる利用者からの情報を得ることを主眼においた。

本報告書（抄）はその回答の集計および分析のまとめを、図書館ホームページで公開するために要点部分をとりまとめたものである。記述式回答部分などを含めた報告書全文については、大学図書館貸出返却カウンター（西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館）に申し込んでいただければ閲覧することができる。

調査の概要

（1） 調査期間

2004 年 12 月 1 日～24 日

（2） 調査方法

郵送による依頼、回答

（3） 調査対象　3,040 名

学生総数約 18,000 名の母集団に対し、調査として有効な回答を得るための最低回答数を 376 サンプルと想定(注)し、回収率を約 30%、回収目標数を約 1,000 サンプルと仮定して調査依頼件数を決定した。

内訳

①学部生　2,059 名（抽出による）

所属学部および学年において在学生数に対する調査数が同等の比率となるように抽出した。

②大学院生　981 名（全員）

（注：社会調査士による）

（4） 回答数および回収率

回答数 923 名（回収率 30.4%）

内訳

①学部生　582 名（回収率　28.3%）

②大学院生　341 名（回収率　34.8%）

【２】提言

今回のアンケート結果から抽出される利用実態や要望をもとに大学図書館として今後取り組むべき施策は大小さまざま考えられる。質問ごとに直接に考えられる施策は「３　集計結果および分析」で個々の質問ごとに記載しているが、ここでは、集計結果全体から大学図書館として今後展開すべきこと、あるいは学内他機関に働きかけるべき大きな課題３点について記す。

（１） 図書館の広報機能を充実させる

多くの回答で大学図書館が提供しているサービス等に関する認知度が低い（大学図書館が利用者に対して知らせたい、知っていてほしいと考えることが十分には周知されていない）という結果が出ている。利用者がある特定のサービスを使う・使わないという以前にそのサービスの存在を知らなかったという回答が多く、認知度が期待するレベルを下回っている。この点について図書館は大いに反省し、対応を検討すべきである。

大学図書館から利用者への広報は、ホームページ、掲示、学内刊行物（「関学ジャーナル」他）、大学図書館の刊行物（「時計台」他）、といった媒体によって行っているのが現状である。その他広い意味の情報発信ということでは各種講演会や展示もこれに含められる。認知度が低いということは結果としてこれらによる広報が効果をあげていないということである。

そこで、現在実施している広報活動の体制を抜本的に見直し、用いる媒体の再検討、体制の再検討を行い、より戦略的な広報活動を組織的に実施することができないか考えることを提案する。各種統計により「図書館が図書館自身のことを知ること」、アンケート等の調査により「図書館が利用者のことを知ること」と、広報により「図書館が図書館のことを利用者へ知らせること」は相互に関連づけて立案・実行されるべきものである。

（２） 学内のパソコンの充実を働きかける

大学図書館へ来たときに何を使ったかという問いで、パソコンを使ったという利用者が非常に多い。記述回答で大学図書館は便利なパソコンの使用場所ということになっているようであり、更にパソコンの設置台数を増やしてほしいと望む声が多い。

本学の大学図書館の建設時のコンセプトのひとつに「情報の受信・発信基地となる」というものがある。これは、図書などの資料の近くにパソコンを設置し、資料を使って、あるいはＷＥＢ上の情報源を使って調べものをする、レポート・論文をまとめるといったことができるように、という主旨である。しかし現在のパソコンに対する利用の実態は、この大学図書館のコンセプトと一致しているとは考えにくい。実際には単なるメールのやりとり、ネットサーフィンといった、特に大学図書館でなくてもよい使われ方が多い。

大学図書館は学内の中心に近くどこからも便利な位置にあり、また開館時間帯の長さや休日開館による開館日数の多さといったことから、利用者にとって大学図書館がますます「パソコンを使う場所として便利なところ」という面が大きくなっている。しかし、大学図書館の面積は有限であり現在既にほとんどの空間は使用されている。一見ゆとりがあるように見える場所にラックを置いてパソコンを増設することも不可能ではないが、本学の大学図書館の「良好な閲覧空間の提供」という一大長所をうち消すことになり、これは選択しにくい。それよりもパソコンは大学が構成員に提供する環境の一要素として、学内の便利な場所に増設することを大学の方針として実施するよう働きかけることを提案する。

（3） データベース、電子ジャーナルの導入についての方針を明確化する

今回の調査結果によると外部データベースや電子ジャーナルについての認知度が低いことがわかった。この背景として考えられることはいくつかあり「3　集計結果および分析」でも触れるが、対応策としてはより一層の認知拡大を目指して広報に力を入れるということが考えられる。しかし、これら外部情報源に関する現在の契約のありかたを考えると、どこに力を入れて広報すべきか焦点を定めにくい。

望ましい形としては「このような基本方針により導入する。必要な費用は予算措置を行う」という明確な方針のもとで導入し、それに基づいて広報するべきであるが、現在のところ何とか費用の工面ができているものを除いては無料のサービスに依存している状態であり、この現状は非常に不十分かつ不安定であり、利用者にとっての満足からはほど遠い状況である。

このデータベース導入に関する予算措置も含めた大学としての基本方針については以前から学長府に対して相談しているところであるが、いまだに明確な回答を得られていない。

この点について更に学長府に対して働きかけを行い、本学の行われる研究に必要な情報源を安定的に提供できる基盤を固めることが必要である。

【３】集計結果および分析

以下に各質問に対する回答の集計結果（表３－１）、集計結果からどのようなことが言えるか、その背景にはどのような事情があるのか、またその結果を踏まえて図書館として取るべき施策は何か、について考察した。

なお、考察にあたっては全ての質問に対して次の三つの観点から検討を行った。

① 西宮上ケ原キャンパスと神戸三田キャンパスでの利用状況の相違について
② 学部学生と大学院生の利用状況の相違について
③ 目標とする認知度、満足度との相違について（ただし、このようなアンケート調査は大学図書館としては今回が初回であるため、今回の結果と比較することができる過去のデータが存在しない。そこで、目標とすべき水準を想定し今回はそれとの相違について検討した。目標とした水準を設定した質問番号とその設定した目標値は集計表の後に添える。　表３－２）

以下、各質問ごとに、＜集計から＞、＜背景として考えられること＞、＜施策＞を記しているが、質問内容によっては背景の検討が不要なものや、何らかの施策の検討に結びつくような傾向が見られなかったものがあるため、必ずしも全ての質問について上記三項目の記載があるわけではないことを付記しておく。

質問３：利用頻度について

＜集計から＞

学部生の７割強､大学院生の６割が週１回以上利用している｡学部生が大学院生より利用頻度が高く、また、神戸三田キャンパスの学部生が西宮上ケ原キャンパスの学部生より利用頻度が高い。

＜背景として考えられること＞

大学院生の利用が学部生より頻度が低いことについては、図書館以外の大学院生専用施設が充実してきたこと、また、神戸三田キャンパスの学部生の利用頻度が高いことには、神戸三田キャンパス図書メディア館には図書館機能以外のメディアセンター機能があること、および、神戸三田キャンパスでは西宮上ケ原キャンパスに比べ、学部生の学内における居場所としての施設が少ないことが考えられる。

＜施策＞

特になし

質問４：もっとも最近図書館で何を利用しましたか

この質問は、平均的な図書館利用実態を知るためのサンプルとして「もっとも最近」の行動を例として取り上げたものである。

＜集計から＞

利用実態については大学院生、学部生の差はあるが、キャンパス間での差はあまりない。図書の利用は､他の利用に比べ一番多く、８割弱を占める｡図書の利用については、大学院生が学部生より多く、雑誌の利用についても大学院生が多い。視聴覚資料の利用については、学部生が大学院生より多い。また、パソコンの利用については、学部生では７割強、大学院生では４割強が利用しており、学部生が大学院生より利用の割合が高く図書館利用の大きな柱になっている｡また､学部生の半数以上が｢待

ち合わせ場所」、「授業の合間の居場所」として図書館を利用している。

＜背景として考えられること＞

大学院生は学部生に比べ研究活動に従事している者が多いため、図書、雑誌についての利用比率が高いと考えられる。視聴覚資料については、研究用資料ではなく教養的な資料が多いことから学部生の利用が多いものと考えられる。また、パソコンの利用についての学部生と大学院生の差については、図書館以外の施設に大学院生専用のパソコンがあるためだと予想できる。学部生にとっての図書館は、図書資料やパソコンを利用する場所でもあると同時に学内の居場所として利用することもポピュラーなことのようである。

＜施策＞

特になし

質問５：私語や携帯電話について

＜集計から＞

学部生は６割以上が、大学院生は７割以上が「気になる」と思っており、図書館内の静粛を求める声は強い。その中で神戸三田キャンパスの学部生の半数近くが「気にならない」と思っている。

＜背景として考えられること＞

神戸三田キャンパス図書メディア館では、メディア・フォーラムが併設されているためディベート、プレゼンテーション準備などである程度の騒がしさに慣れた環境であると思われる。

＜施策＞

図書館の機能の一つとして良好な環境の学習・研究の場を提供する必要があることから、静かに集中できるような場所と会話してもよい場所を作るなどして閲覧座席の棲み分けを考える必要がある。

質問６：貸出返却カウンターの利用について

＜集計から＞

９割を超える利用者が貸出返却カウンターを利用したことがあり、西宮上ケ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書メディア館の差、および学部生と大学院生の差はあまりみられない。

＜背景として考えられること＞

図書の貸出は図書館の基本的な機能の一つであり、ほとんどの利用者が活用していることがわかる。

＜施策＞

特になし

質問７：もっとも最近貸出返却カウンターを利用した際の職員の対応について

＜集計から＞

大学院生が学部生より職員の対応が親切と感じた人が多く、大学院生は８割強、学部生は８割弱が親切と感じている。また、神戸三田キャンパス図書メディア館の貸出返却カウンターが西宮上ケ原キャンパス大学図書館の貸出返却カウンターより職員の対応が親切と感じられた割合が高い。

＜背景として考えられること＞

大学院生と学部生の違いについては、その理由について不明である。西宮上ケ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書メディア館の違いについては､サービス規模の違いは当然あるとしても、利用者に対する指導や注意の仕方が異なっているのではないか。

＜施策＞

本来、各キャンパスにおけるサービスに違いがあるべきではなく、統一したカウンター対応をおこなう必要がある。また、「親切さ」は利用者が受けたサービス全体に対する印象や感じ方の問題であり、具体的にどのような対応によって親切でないと感じたのか不明であるが、図書館員としての経験を生かしてより親切と感じられるカウンター対応を目指すことは必要と考える。今回のアンケートでは、親切でなかった場合の具体的な事例を聞き取ることができていないが、次回以降のアンケート調査では親切でないと感じられた具体的な事柄を聞き取り、改善に結びつけるよう努力する必要がある。

質問８：レファレンスカウンターの利用について

＜集計から＞

大学院生では８割弱が利用し、学部生では４割弱が利用しており、大学院生が学部生より利用した割合が高い。西宮上ケ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書メディア館との差はほとんどない。

＜背景として考えられること＞

大学院生は円滑な研究活動を行うための研究支援サービスを受ける機会多いため、カウンターの利用も多くなっていると考えられる。

＜施策＞

レファレンスカウンターでは、学部生も気軽に利用相談などができることを周知させる必要がある。

質問９：もっとも最近レファレンスカウンターを利用した際の職員の対応について

＜集計から＞

大学院生の９割強、学部生の８割が親切だったと感じている。また、神戸三田キャンパス図書メディア館のレファレンスカウンターが西宮上ケ原キャンパス大学図書館のレファレンスカウンターより親切だったと感じた利用者の割合が高い。

＜背景として考えられること＞

大学院生と学部生の違いについての理由は不明である。西宮上ケ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書メディア館の違いについては、利用者に対する指導や注意の仕方が異なっているのではないかと思われる。例えば利用指導の面において、自立した利用者になってもらいたいために最終回答まで与えず、回答に至るまでの道筋を教えるというような指導方針と、短絡的に直接の回答が欲しい利用者の希望との差が「親切でなかった」という回答になっている可能性がある。

＜施策＞

質問７で検討したことと同様であるが、本来、各キャンパスにおけるサービスに違いがあるべきではなく、統一したカウンター対応をおこなう必要がある。また、「親切さ」は利用者が受けたサービス全体に対する印象や感じ方の問題であり、具体的にどのような対応によって親切でないと感じたのか不明であるが、図書館員としての経験を生かしてより親切と感じられるカウンター対応を目指すことは

必要と考える。今回のアンケートでは、親切でなかった場合の具体的な事例を聞き取ることができていないが、次回以降のアンケート調査では親切でないと感じられた具体的な事柄を聞き取り、改善に結びつけるよう努力する必要がある。

質問１０：もっとも最近レファレンスカウンターを利用した際の回答について

＜集計から＞

大学院生の９割、学部生の８割強が期待した回答が得られたとしており、大学院生が学部生より期待した回答が得られたとする割合が高い。

＜背景として考えられること＞

大学院生は学部生より相談内容が明確であることが多く、回答しやすいため期待に応えられることが多いと考えられる。

＜施策＞

利用者からの質問内容については、さらに多様化していく傾向にあり、今後ともレファレンスの技術向上に努めていかなければならない。また、次回以降のアンケート調査では期待した回答を得られなかった具体的な事例を聞き取り、改善に結びつけるよう努力する必要がある。

質問１１：もっとも最近図書館を利用したときの OPAC 利用について

＜集計から＞

８割強が利用できた。

＜背景として考えられること＞

OPAC 端末は館内に分散して配置しているため、利用できなかったと回答した学生はたまたま近くの端末がふさがっていた可能性が高い。

＜施策＞

図書館員が日常館内を巡回して把握している利用状況から、西宮上ケ原キャンパス大学図書館内の OPAC 端末は現行台数で十分であると考えている。増設を検討するより、どこに設置している OPAC 端末の利用が多いか、また、利用の少ない設置場所などを調査した上で、現行の台数で効率的に利用できるように設置場所の変更等を検討することが考えられる。

質問１２：もっとも最近図書館を利用したときのパソコン利用について

＜集計から＞

パソコンを利用したいときに利用できなかった利用者が約６割であった。特に神戸三田キャンパス図書メディア館では学部生は３割弱しか利用できていない。

＜背景として考えられること＞

情報の入手に電子媒体を使用する頻度が増加したこと、学習過程で学術情報を自らインプット、アウトプットする手段としてパソコンの重要度が高まったことが考えられるが、図書館でパソコンを設置した本来の目的以外の利用、例えば電子メールによるコミュニケーションツールとして、また、就職情報や娯楽情報を得るためのツールとしての利用が多いと思われる。また、大学図書館はキャンパス

内で設置台数が一番多く、利用できる時間が一番長く、キャンパスの他の施設が閉館している日曜日にも利用可能であること等、学生にとって利用しやすい条件がある。

＜施策＞

図書館に設置する本来の目的から考えるとパソコン台数は十分とは言えないまでもほぼ充足できているのではないかと考える。図書館内にこれ以上のパソコンを増設するスペースがない現状においては、学生がパソコンの不足について不満を持っている状況を大学全体の問題として捉え、関連部課へ提言する必要がある。

質問１３：視聴覚資料利用コーナーの利用について

＜集計から＞

９割を越える学生がその存在を知っており、学部生は５割弱、大学院生は３割強が利用したことがあり、学部生が大学院生より利用したことのある割合が高い。また、神戸三田キャンパスの学部生の認知度が一番低く１割強はその存在を知らないと回答している。

＜背景として考えられること＞

西宮上ケ原キャンパス大学図書館での認知度が高いのは、新入生時のオリエンテーションでの印象が強いことが考えられる。神戸三田キャンパスの学部生の認知度が他と比較して低いのは、神戸三田キャンパス図書メディア館は西宮上ケ原キャンパス大学図書館とは異なり独立した「視聴覚資料利用コーナー」を持たないため質問の意味が分かりにくかったのではないかと考えられる。神戸三田キャンパスでは授業で視聴覚資料の利用が必須とされている科目があるため、利用したことのある人の割合がもっと高くなると予想したが少なかった。また、学部生が大学院生より利用度が高いのは、質問４でも見られたように、視聴覚資料については、研究用ではなく教養的な資料が多いからと考えられる。

＜施策＞

特になし

質問１４：グループ閲覧室の利用について

＜集計から＞

９割を超える学生がその存在を知っており、学部生の半数が利用したことがあり、特に神戸三田キャンパスの学部生では６割を超えている。また、大学院生は西宮上ケ原キャンパス大学図書館では４割が利用したことがあると回答しているが神戸三田キャンパス図書メディア館では３割に満たない。

＜背景として考えられること＞

神戸三田キャンパスの学部生の利用が多いのは、総合政策学部ではグループ学習、プレゼンテーションを課す授業が多いためであると考えられる。同様に西宮上ケ原キャンパスにおいても学部によってはグループ学習を課しておりその結果がでている。西宮上ケ原キャンパスの大学院生の４割が利用していると回答していることについては、カウンターでの受付実態とは異なっており、過去の学部生の時の利用についての回答がなされたのかもしれない。

＜施策＞

次回以降のアンケート調査では大学院生に対する質問の内容を再考する必要がある。

質問１５：もっとも最近図書を探したときにその資料があったか
この質問については、その図書が図書館に所蔵されていなかったのか、所蔵しているのに見つけ出すことが出来なかったのか、貸出中で書架になかったのか、どの意味で「あった」、「なかった」と回答したのか不明であるため、回答数に意味を求めることができない。
＜集計から＞
図書を探したことがない利用者は１割未満である。
＜背景として考えられること＞
質問４でも見られたように図書の利用は図書館の来館の大きな目的であることがわかる。
＜施策＞
次回以降のアンケート調査では、蔵書検索を行った結果の資料の有無、所蔵しており貸出中でもない場合の資料の有無等、どの意味で「あった」、「なかった」と回答したのか明確な質問を設定する必要がある。

質問１６：もっとも最近雑誌を探したときにその資料があったか
この質問においても、質問１５と同様に「あった」、「なかった」の意味合いが不明である。
＜集計から＞
半数近くの学部生は雑誌を探したことがなく、２割の大学院生も雑誌を探したことがない。
＜背景として考えられること＞
特になし
＜施策＞
次回以降のアンケート調査では、蔵書検索を行った結果の資料の有無、所蔵している場合の資料の有無等、どの意味で「あった」、「なかった」と回答したのか明確な質問を設定する必要がある。

質問１７：もっとも最近視聴覚資料を探したときにその資料があったか
この質問においても、質問１５と同様に「あった」、「なかった」の意味合いが不明である。
＜集計から＞
大学院生で８割弱、学部生で６割強が視聴覚資料を探したことがない。
＜背景として考えられること＞
大学院生が探したことがないと回答した割合が高いのは、視聴覚資料については、研究用ではなく教養的な資料が多いからであると考える。
＜施策＞
次回以降のアンケート調査では、蔵書検索を行った結果の資料の有無、所蔵しており貸出中でもない場合の資料の有無等、どの意味で「あった」、「なかった」と回答したのか明確な質問を設定する必要がある。

質問１８：資料の充実度について

＜集計から＞
学部生は５割強が揃っていると感じているが大学院生は４割強でしかない。神戸三田キャンパス図書メディア館は西宮上ケ原キャンパス大学図書館より資料が十分そろっていないと感じられている割合が高い。また、学部生、大学院生とも総合政策学部、総合政策研究科の学生が揃っていないと感じている割合が高い。社会学研究科、文学研究科の大学院生も資料が揃っていないと感じている。法学研究科、経済学研究科、商学研究科の大学院生の７割弱は資料が揃っていると感じている。
＜背景として考えられること＞
大学院生は学部生より専門的な資料を多く必要とし、所蔵資料で賄いきれないため揃っていないと感じていると思われる。また、学際的な分野で幅の広い領域の研究対象をもつ学部や研究科では必要とする資料の種類が格段に多く、必要な資料を全て揃えることはできない。神戸三田キャンパス図書メディア館は歴史が新しく、西宮上ケ原キャンパス大学図書館よりも蔵書冊数が少ないことから資料が揃っていないと感じられている。
＜施策＞
大学構成員（利用者）の研究対象となる資料を収集所蔵することは大学図書館の大きな機能の一つであるが研究対象が学際化している現状においては、全ての利用者に必要な資料を一つの図書館でそろえることは不可能である。今後とも収集についての努力は続けていかなければならないが、他大学、他機関との相互利用制度が今以上に活用されるよう広報を十分におこなう必要がある。また、西宮上ケ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書メディア館との学内相互利用を簡便にすることによって神戸三田キャンパスの学生が西宮上ケ原キャンパス大学図書館に所蔵する資料を利用しやすくする検討を行う必要がある。

質問１９：外国語テレビ放送の利用について
＜集計から＞
学部生の認知度は西宮上ケ原キャンパスが３割、神戸三田キャンパスは６割強である。一方、大学院生の認知度は西宮上ケ原キャンパスが４割強、神戸三田キャンパスは８割弱である。神戸三田キャンパス図書メディア館で利用したことがあると回答した学生の割合は西宮上ケ原キャンパス大学図書館で利用したことがあると回答した学生の割合より多いが、学部生、大学院生とも１割に満たない。
＜背景として考えられること＞
認知度が低いのは、広報不足が考えられる。また、知っていても利用しない利用者が多いことから利用者が求める番組が提供できていないことが考えられる。
＜施策＞
広報を強化することによって認知度を上げる。また、提供している番組が利用者の需要とマッチしているかどうか調査する必要があるが、それよりもまず、外国語テレビ放送を図書館で提供する必要があるかどうか西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館それぞれで再検討することが必要である。

質問２０：オンライン・データベースの利用について
＜集計から＞

大学院生は９割以上が認知しており７割が利用したことがある。学部生は６割弱しか認知しておらず、３割しか利用していない。大学院生では西宮上ケ原キャンパス、神戸三田キャンパスの違いはあまり見られないが、学部生では西宮上ケ原キャンパスの学部生の利用は神戸三田キャンパスの学部生より低い。学部生では総合政策学部、社会学部でデータベースを利用したことがある人の割合が高く、経済学部は低い。

＜背景として考えられること＞

学部生の利用が低いのは、質問の「オンライン・データベース」の意味が理解されていない可能性がある。「MAGAZINEPLUS」や「聞蔵」などを「オンライン・データベース」という意識なしに使っている可能性がある。

＜施策＞

広報を強化することによって認知度を上げる。また、教員との連携を強化し利用教育に注力することでツールとしての有効性を紹介していく必要がある。更に、契約しているデータベースが利用者の需要とマッチしているかどうかアクセス統計を取るなどして見直す必要もある。

質問２１：電子ジャーナルを利用したことがありますか

＜集計から＞

大学院生が学部生より認知度、利用度とも高い。また、学部生、大学院生とも神戸三田キャンパスの学生が西宮上ケ原キャンパスの学生より認知度、利用度とも高い。神戸三田キャンパスの大学院生の利用は５割であるが、西宮上ケ原キャンパスの大学院生の利用は２割強である。社会学研究科、理工学研究科の大学院生は利用したことのある人の割合が５割を超えており、他と比較して高い。

＜背景として考えられること＞

質問４の雑誌の利用についてと同様に、大学院生は学部生に比べ研究活動に従事している者が多いため利用度が高いと考えられる。神戸三田キャンパスでの利用が多い背景としては、理工学研究科の大学院生については図書・学術情報費で購入されている「Science Direct」と「SciFinder(CA)」が安定提供されていることが理由として考えられる。現在利用者に提供している電子ジャーナルは、前述以外のものは冊子体での購入に付随して出版社から提供されているものであり、電子ジャーナルとして購入して利用者に提供されているものではない。従って安定した提供とは言えず十分な広報もされていないため認知度が低いと考えられる。

＜施策＞

大学図書館として、また大学として今後の電子ジャーナルの取り扱い（冊子体の雑誌の取り扱いを含む）についての方針を策定する必要がある。

質問２２：図書館報『時計台』について

＜集計から＞

学部生の認知度は５割、大学院生の認知度は７割である。利用者への全員配布をおこなっていないことを考えると予測していたよりも認知度が高い。学部生は西宮上ケ原キャンパス、神戸三田キャンパスの差はあまりないが、大学院生では神戸三田キャンパスの大学院生は西宮上ケ原キャンパスの大学院生より認知度も読んだことのある人の割合も高い。

＜背景として考えられること＞
大学院生は図書館活動や図書館が発信する情報に関心が強いことが考えられる。
＜施策＞
現在の『時計台』は、図書館活動の記録または他大学等への広報を主たる目的としていることから、利用者アンケート調査の対象とするには不向きな質問であったと考えられる。

質問２３：2004 年秋季特別展示について
質問２４：2004 年 11 月開催学術講演会について
＜集計から＞
質問２３の認知度は８割､質問２４については３割である｡大学院生の方が学部生より認知度が高く、西宮上ケ原キャンパスの学生は神戸三田キャンパスの学生より認知度が高い。
＜背景として考えられること＞
これらの展示、講演会は西宮上ケ原キャンパス大学図書館で開催したものであるため西宮上ケ原キャンパスでの認知度が高いのは当然といえる。また、質問２２と同様に大学院生は図書館活動や図書館が発信する情報に関心が強いことが考えられる。
＜施策＞
西宮上ケ原キャンパス大学図書館だけでなく神戸三田キャンパス図書メディア館でも展示、講演会等の情報発信について検討する必要がある。

質問２５：日曜日開館について
＜集計から＞
大学院生の認知度が６割弱、学部生の認知度は５割に満たない。西宮上ケ原キャンパスと神戸三田キャンパスの違いは大きく見られない。
＜背景として考えられること＞
日曜開館の実施初年度での調査結果であり、２年目に入った現時点ではもっと認知度は高くなっていると考えられる。また実施開始時の広報不足が考えられる。
＜施策＞
特になし

質問２６：日曜開館の認知媒体について
＜集計から＞
ＨＰ、『関学ジャーナル』、館内掲示、口コミのうち、学部生では口コミが４割強で一番であり、次に掲示が３割、ＨＰが１割であり、大学院生ではＨＰと口コミが３割前後で、３番目に掲示が２割強であった。このことから学部生と大学院生では図書館の情報を得る手段に違いがあることがわかった。また、HP と掲示は有効な広報手段であり、『関学ジャーナル』は他の手段と比べるとあまり有効な広報手段とはいえない。
＜背景として考えられること＞

大学院生は図書館活動や図書館が発信する情報に関心が強いことが考えられる。

＜施策＞

口コミによる情報伝達は正確な情報を十分に伝えることに期待できないため、HP や掲示での広報をさらに強化する必要がある。掲示では現行の紙媒体の掲示だけでなく電光掲示板やパソコンを利用した情報の発信など広報媒体の見直しをおこなう必要がある。

質問２７：学外相互利用制度（文献複写、図書貸借、紹介状による閲覧）の利用について

＜集計から＞

大学院生が学部生より利用したことのある割合が高く、認知度も高い。大学院生では「文献複写」と「図書貸借」の認知度は９割弱であり、「紹介状による閲覧」についての認知度は８割強である。同じ傾向が学部生にも見られ、学部生では「文献複写」と「図書貸借」の認知度は約５割であり、「紹介状による閲覧」についての認知度は５割弱である。「文献複写」では神戸三田キャンパスの大学院生は５割強が利用したことがあるが西宮上ケ原キャンパスの大学院生は４割であった。研究科別に見ると文学研究科では大学院生の７割弱が利用しており、その他の研究科では、社会学研究科、理工学研究科、総合政策研究科の大学院生が５割を超えて利用している。学部生では５％程度にとどまっている。「図書貸借」については大学院生では社会学研究科の大学院生が４割弱、総合政策学研究科の大学院生が３割強で多かった。学部生は数％である。「紹介状による閲覧」では、学部生は利用したことのある割合は皆無に近く、ほとんど利用されていない。大学院生では全体では２割弱の利用であるが、研究科による利用割合はかなり異なり、一番多く利用したことのある研究科は経済学研究科で４割の大学院生が利用している一方で、理工学研究科の大学院生の利用は全くなかった。

＜背景として考えられること＞

大学院生の認知度が高いのは、学部生より専門性の高い資料を探しているため学外の資料へのニーズが高いことや図書館からの情報や提供サービスについて関心が強いことが考えられる。また、学部生では、現在実施している「文献の探し方」オリエンテーションへの参加の低い学部はこれらのサービスの認知度が低い。「紹介状による閲覧」の利用度が低いことについては、このサービスについては「文献複写」や「図書貸借」よりも利用者が望む優先順位が低いサービスであることから利用の割合が低いと考えられるが、経済学研究科の大学院生の４割が利用している理由は不明である。

＜施策＞

これらのサービスを利用するかしないかについては所蔵資料との関連が大きく、一概に利用が多いことを肯定的に評価できない。しかしながらこれらのサービスを知ることは図書館の有効利用にもつながることから、図書館の姿勢として、より認知度を上げる努力をしなければならない。「文献の探し方」等のオリエンテーションを有効に利用してもらえるよう教員に対しての広報を強化したり、また、広報媒体を検討したりして学部生の認知度を上げる努力をする必要がある。

質問２８：学内相互利用サービス（文献複写、図書資料取り寄せ）の利用について

＜集計から＞

大学院生の認知度は９割弱、学部生の認知度は６割強であり、神戸三田キャンパスの学生が西宮上ケ原キャンパスの学生より知っている人の割合が高い。「文献複写」では、大学院生全体では２割弱が利

用しており、中でも総合政策研究科の大学院生の５割弱が利用しており他の研究科と比べて特に高い。また、学部生では数%の利用しかないが、総合政策学部の学部生の利用は１割強であり他学部生と比べて高い。「図書資料取り寄せ」では、大学院生の４割弱が利用したことがあるが、その中でも経済学研究科、総合政策研究科、社会学研究科の大学院生の６割弱から７割弱が利用したことがあり、他の研究科と比べて高い。学部生では１割が利用したことがあるが、中でも総合政策学部の学生の利用が３割を超えており他学部生と比べて高い。神戸三田キャンパスの学生が西宮上ケ原キャンパスの学生よりも利用度が高い。

＜背景として考えられること＞

神戸三田キャンパス図書メディア館が西宮上ケ原キャンパス大学図書館より蔵書冊数が少ないため西宮上ケ原キャンパス大学図書館に頼らざるを得ないこと、総合政策学部、研究科は人文社会自然科学の全ての分野に渡る資料が必要な学部、研究科であるため西宮上ケ原キャンパス大学図書館の資料も利用する必要があると考えられる。また、最近での傾向としては西宮上ケ原キャンパス大学図書館から神戸三田キャンパス図書メディア館に対する図書資料の取り寄せが増加している。これは西宮上ケ原キャンパス大学図書館で貸出中の図書資料の複本を神戸三田キャンパス図書メディア館から取り寄せていると考えられる。大学院生の認知度が高いのは図書館からの情報や提供サービスについて関心が強いことが考えられる。

＜施策＞

西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館、それぞれの資料の有効利用からも、学部生の認知度を上げ、また、これらのサービスがより利用しやすい運用形を検討する必要がある。

質問２９：レファレンスカウンターでの利用相談について

＜集計から＞

大学院生の認知度は９割強、学部生の認知度は８割強である。大学院生は６割強の人が利用したことがあり、特に総合政策研究科の大学院生は９割近く利用している。学部生の利用は３割であり、知っているが利用したことのない学部生が５割を超えている。

＜背景として考えられること＞

大学院生は研究活動を円滑におこなうためカウンターで提供している研究支援サービスを必要としている。学部生はカウンターの存在は知っているがその提供サービス内容について知っているかどうかは不明である。

＜施策＞

カウンターで提供しているサービス内容の認知度を上げるとともに、利用したことがない人はなぜ利用しなかったのか次回のアンケートでは調査する必要がある。

質問３０：購入希望図書・資料の申込について

＜集計から＞

大学院生の認知度は７割強、学部生の認知度は６割弱である。大学院生の利用は１割を超え、学部生よりも多いが、学部生はほとんど利用していないという結果がでている。

＜背景として考えられること＞
大学院生の利用が多いという結果がでているが、実際の申込件数は学部生の方が多い。この大学院生の回答には学部生の時の経験も含まれているものと考えられる。また、大学院生、学部生とも認知度はそれなりにあるが利用度が低いのは、資料が十分に揃っていると考えているのか、図書館の希望図書受付基準の厳しさなどによるものか、それとも、利用時の煩雑さが原因しているのではないか。
＜施策＞
購入希望図書・資料の申込について、さらに広報し認知度を上げるとともに、メールや HP からの申し込みを受けるなど利用しやすい運用形を検討する必要がある。また、現在の希望図書受付基準の見直しも行う必要がある。

質問３１：講習会の受講について
＜集計から＞
大学院生の認知度は８割強、学部生の認知度は６割強ある。また、参加したことのある割合は学部生、大学院生ともあまり差がなく３割に満たない。
＜背景として考えられること＞
これらの講習会は学部生をターゲットにしているものであり、大学院生の参加については過去の学部生の時に参加したことがあるという経験が含まれているものと考えられる。講習会が必要とされていないというよりも認知度の低さが参加率の低さにつながっているのではないかと考えられる。
＜施策＞
教員とのタイアップや広報を強化することで認知度を上げる必要がある。また、次回以降のアンケートでは参加しない理由についても調査する必要がある。

質問３２：開館日、開館・閉館時間の要望について
＜集計から＞
約半数の大学院生や学部生は現状の開館日、開館時間で満足している。全体としては開館日の要望の方が開館時間の要望より多い。神戸三田キャンパスでは学部生からの要望が多いが、西宮上ケ原キャンパスでは大学院生からの要望が多い。
＜背景として考えられること＞
質問２５から、約半数の学生が日曜に開館していることを知らなかった時点での調査のため、今回の調査では正確な要望が出ていない可能性がある。
＜施策＞
要望についての再調査をおこなう必要がある。

質問３３：OPAC を利用したことがありますか
質問３３：OPAC の拡張機能（図書予約機能、文献複写依頼機能、問い合わせ機能）の利用について
＜集計から＞
OPAC の基本機能である資料の検索については十分認知され利用されている。拡張機能については大

学院生が学部生より認知度が高く、また、西宮上ケ原キャンパスの学生より神戸三田キャンパスの学生が認知度、利用度とも高い。神戸三田キャンパスの大学院生の文献複写申し込み機能の利用については４割が利用しており西宮上ケ原キャンパスの２割弱との違いが見られる。

＜背景として考えられること＞

神戸三田キャンパスの大学院生の文献複写依頼機能の利用については、質問２７－１にあるように、神戸三田キャンパスの大学院生は文献複写依頼をする機会が高いことからこの機能を使う割合も高くなっていると考えられる。また、この機能を利用すると複写依頼が西宮上ケ原キャンパス大学図書館の担当者に直接届くことから、総日数として文献の入手までの期間短縮になるというメリットがあるため、神戸三田キャンパス図書メディア館での広報が十分おこなわれているためと考えられる。

＜施策＞

拡張機能の広報はオリエンテーションでおこなっているが、もっと広報を強化する必要がある。また、拡張機能の内容について HP や OPAC 画面で説明する必要がある。

質問３４：『図書館の歩き方』パンフレットについて

＜集計から＞

認知度は学部生が４割強、大学院生が６割弱である。

＜背景として考えられること＞

一部は HP に掲載されているが、紙のパンフレットのため、来館しその場所に行かなければ手に入れることができないことが認知度の低さに現れているのではないかと考えられる。

＜施策＞

紙のパンフレットでの提供と同時に HP で公開することを検討する必要がある。

質問３５：図書館の満足度について

＜集計から＞

「満足」と「やや満足」を合わせると約８割となり、図書館に対する満足度は高いと言える。西宮上ケ原キャンパスの学生が神戸三田キャンパスの学生よりも満足している割合が高い。神戸三田キャンパスの学部生の満足度が６割強であり一番低くなっている。

＜背景として考えられること＞

質問からは詳細については分析できないが、西宮上ケ原キャンパス大学図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館より蔵書冊数、施設・設備等の条件が整っているからであると思われる。

＜施策＞

回答者の満足度のレベルはそれぞれであるが、この高い満足度の回答率は今後とも維持していかなければならない。次回アンケート時には、「やや不満」、「不満」の内容を具体的に聞く必要がある。

質問３６：大学図書館に対する意見・要望について（自由記述回答）

自由記述回答の設問に対して 586 名（63.9%）の回答者が何らかの回答を記述してくれている。内容は長短、硬軟さまざまであり、また中には誤解に基づくと思われる記述も散見されるが、手間をかけ

て図書館に対する意見を送ってくれたということで有り難く拝聴し今後の施策に役立てたい。

この記述回答を整理するに当たって次のように行った。

（１） 一つの回答が複数の指摘、意見から成るものを分解した。その結果、586 件の回答は合計 1,189 件のコメントとなった。

（２） 分解された個々のコメントについて、図書館のどの部分についての指摘であるかを分類した。

（３） 分解された個々のコメントについて、その内容により謝辞・賛辞等の図書館に対して肯定的なコメント、プラス・マイナスの価値判断ではない指摘、不満・クレーム等の図書館に対して否定的なコメント、の三種類に分類した。

表３－３はその分類結果の表である。

この表のタテに上の（２）に書いた「指摘された部分」を、ヨコに「肯定」「中間」「否定」の判断、および該当するコメントの数および合計数を記している。

タテの「指摘された部分」は上から大区分として、「０　全般」、「１　図書館の運営・制度」、「２　蔵書」、「３　利用者サービス」、「４　施設・設備」、「５　ＯＰＡＣ」、「６　図書館職員」「７　利用者マナー」「８　広報」「９　その他」、更に各大区分の中で内容により「中区分」「小区分」を設定して整理した。小区分として設定した項目は「複数の回答者が同一の指摘をしている」ものである。ひとりの回答者の指摘しかなかったコメントは「その他」とし小区分に具体的に記入することをしていない。

多くのコメントが寄せられたのは大区分で言えば「２　蔵書」255 件、「４　施設・設備」453 件、「６　図書館職員」143 件、「７　利用者マナー」116 件といったところであり、このようなところに利用者の不満や期待が集まっていると考えられる。

また、中区分を見ると「貸出規則」「開館時間」「蔵書全般」「図書」「雑誌」「教研ＰＣ」「プリンタ」「コピー機」「閲覧席（机・イス）の数」「閲覧席（机・イス）の質」「飲食可能な空間」「職員の対応」「利用者のマナーの悪さ」「利用者のマナーの悪い状況に対する指導」といった所に対するコメントが多く、更に小区分で見ると「図書・雑誌の少なさ」「学術書以外の資料がないこと」「図書の種類が少ないこと」「図書が古いこと」「図書の複本に対する要望」「雑誌が少ないこと」「館内の配架方法の問題点」「教研ＰＣの不足」「上ケ原大学図書館３階にプリンタ設置の要望」「全体にプリンタの不足」「ＯＰＡＣ－ＰＣの不足」「コピー機増設の要望」「空調の温度設定の不適」「飲食または飲むことが可能な空間への要望」「全般に図書館職員の対応の不親切さ」「貸出返却カウンターでの図書館職員の対応の不親切さ」「騒がしい利用者やＰＣを占有する利用者にもっと注意せよという要望」「利用者のマナー全般のわるさ」「利用者の静粛マナーの欠如」「利用者のＰＣ占有のマナーの欠如」といったことに関するコメントが多かった。

一方ヨコに記している判断を見ると、「肯定的コメント」が合計で 50 件、「中間のコメント」は合計 24 件、「否定的コメント」が合計 1,115 件であり、圧倒的に否定的コメントが多い。これはこのようなアンケートの記述回答としては当然予想される結果であり、図書館の改善に向けて貴重な示唆と受け止めるべきである。

ところで表３－４はこの質問 36 に回答された記述回答（単独コメントに分解後）の「判断（○△×）」と、その回答者が質問 35 で「図書館に対する全般的な満足度」を問う質問でどのように回答していたかの相関関係を見たものである。

これによると、質問 35 で「１　満足」「２　やや満足」と回答している回答者が、質問 36 で合計 815 件（68.5％）のコメントを寄せ、その内容では「否定的」なコメントが 771 件（「満足」「やや満足」の 94.6％）存在し、質問 35 で「３　やや不満」「４　不満」と回答している回答者が、質問 36 で合

計 369 件（31.0%）のコメントを寄せ、その内容では「否定的」なコメントが 341 件（「やや不満」「不満」の 92.4%）であった。このことから、「満足」「やや満足」という回答をしている回答者ほど質問 36 で何らかの記述回答を記入してくれていること、質問 36 で否定的コメントを回答している回答者も全般的には図書館に対して概ね満足しているという回答をしている者が多いことがわかる。つまり、質問 35、36 の回答を総合すると「図書館には概ね満足しているが、ここは何とかしてほしい」という利用者の声が現れていると理解すべきであると考えられる。

以　上

表3-1

質問3．　利用頻度について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
ほぼ毎日	43	9.5	30	27.3	73	13.0	16	5.8	2	3.2	18	5.3
週二三日	158	34.9	35	31.8	193	34.3	90	32.5	19	30.6	109	32.2
週一日	132	29.1	25	22.7	157	27.9	63	22.7	15	24.2	78	23.0
月一二日	117	25.8	19	17.3	136	24.2	102	36.8	25	40.3	127	37.5
利用なし	3	0.7	1	0.9	4	0.7	6	2.2	1	1.6	7	2.1
合計	453	100	110	100	563	100	277	100	62	100	339	100

○ 学部生の方が大学院生よりも利用頻度が高い。
また学部生では三田の方が上ケ原より利用頻度が高い。

質問4-1．　もっとも最近図書館を利用したとき図書を利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	337	73.3	72	68.6	409	72.4	253	91.7	48	77.4	301	89.1
いいえ	123	26.7	33	31.4	156	27.6	23	8.3	14	22.6	37	10.9
合計	460	100	105	100	565	100	276	100	62	100	338	100

○ 大学院生の方が学部生より図書の利用が多い。
また大学院生では上ケ原の方が三田より図書の利用が多い。

質問4-2．　もっとも最近図書館を利用したとき雑誌を利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	130	28.3	24	22.9	154	27.3	154	55.8	43	69.4	197	58.3
いいえ	330	71.7	81	77.1	411	72.7	122	44.2	19	30.6	141	41.7
合計	460	100	105	100	565	100	276	100	62	100	338	100

○ 大学院生の方が学部生より雑誌の利用が多い。
また学部生では上ケ原の方が三田より、大学院生では三田の方が上ケ原より雑誌の利用が多い。

質問4-3．　もっとも最近図書館を利用したとき新聞を利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	96	20.9	22	21.0	118	20.9	58	21.1	11	17.7	69	20.5
いいえ	364	79.1	83	79.0	447	79.1	217	78.9	51	82.3	268	79.5
合計	460	100	105	100	565	100	275	100	62	100	337	100

○ 特になし。

質問4-4．　もっとも最近図書館を利用したとき視聴覚資料を利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	76	16.6	13	12.4	89	15.8	17	6.2	1	1.6	18	5.3
いいえ	383	83.4	92	87.6	475	84.2	259	93.8	61	98.4	320	94.7
合計	459	100	105	100	564	100	276	100	62	100	338	100

○ 学部生の方が大学院生より視聴覚資料の利用が多い。

質問4-5．　もっとも最近図書館を利用したとき貸出返却カウンターを利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	256	55.7	55	52.4	311	55.0	234	84.8	42	67.7	276	81.7
いいえ	204	44.3	50	47.6	254	45.0	42	15.2	20	32.3	62	18.3
合計	460	100	105	100	565	100	276	100	62	100	338	100

○ 大学院生の方が学部生より貸出返却カウンターの利用が多い。
また大学院生では上ケ原の方が三田より貸出返却カウンターの利用が多い。

質問4-6．　もっとも最近図書館を利用したときレファレンスカウンターを利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	58	12.6	15	14.3	73	12.9	113	40.9	27	43.5	140	41.4
いいえ	402	87.4	90	85.7	492	87.1	163	59.1	35	56.5	198	58.6
合計	460	100	105	100	565	100	276	100	62	100	338	100

○ 大学院生の方が学部生よりレファレンスカウンターの利用が多い。

質問4-7．　もっとも最近図書館を利用したとき閲覧座席を利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	274	58.5	50	47.6	324	56.5	151	54.5	28	45.9	179	53.0
いいえ	194	41.5	55	52.4	249	43.5	126	45.5	33	54.1	159	47.0
合計	468	100	105	100	573	100	277	100	61	100	338	100

○ 上ケ原の方が三田よりも閲覧座席の利用が多い。

質問4-8．　もっとも最近図書館を利用したとき研究個室を利用した (大学院生のみ)

	大学院生					
	上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	66	24.4	13	21.3	79	23.8
いいえ	205	75.6	48	78.7	253	76.2
合計	271	100	61	100	332	100

○ 特になし。

質問4-9．　もっとも最近図書館を利用したときグループ閲覧室を利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	61	14.5	24	26.1	85	16.6	32	11.7	4	6.6	36	10.7
いいえ	359	85.5	68	73.9	427	83.4	242	88.3	57	93.4	299	89.3
合計	420	100	92	100	512	100	274	100	61	100	335	100

○ 学部生の方が大学院生よりグループ閲覧室の利用が多い。
また学部生では三田の方が上ケ原より、大学院生では上ケ原の方が三田より、グループ閲覧室の利用が多い。

質問4-10．　もっとも最近図書館を利用したときパソコンを利用した。

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	295	70.1	77	81.9	372	72.2	122	44.5	24	39.3	146	43.6
いいえ	126	29.9	17	18.1	143	27.8	152	55.5	37	60.7	189	56.4
合計	421	100	94	100	515	100	274	100	61	100	335	100

○ 学部生の方が大学院生よりパソコンの利用が多い。
また学部生では三田の方が上ケ原より、大学院生では上ケ原の方が三田より、パソコンの利用が多い。

質問4-11.　もっとも最近図書館を利用したとき待ち合わせ場所、授業の合間の居場所として利用した

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	225	54.0	48	53.3	273	53.8	38	14.0	2	3.3	40	12.0
いいえ	192	46.0	42	46.7	234	46.2	234	86.0	59	96.7	293	88.0
合計	417	100	90	100	507	100	272	100	61	100	333	100

○ 学部生の方が大学院生より待ち合わせ場所としての利用が多い。
また大学院生では上ケ原の方が三田より待ち合わせ場所としての利用が多い。

質問4-12.　もっとも最近図書館を利用したとき講学科員のプレゼンテーションビデオ、教員指定の教材ビデオを利用した
もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	12	12.4	1	1.7	13	8.3
いいえ	85	87.6	58	98.3	143	91.7
合計	97	100	59	100	156	100

○ 学部生の方が大学院生よりプレゼンテーション･ビデオ･教材ビデオの利用が多い。

質問4-13.　もっとも最近図書館を利用したときマルチメディア機器を利用した。(三田のみ)
もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	15	15.6	4	6.8	19	12.3
いいえ	81	84.4	55	93.2	136	87.7
合計	96	100	59	100	155	100

○ 学部生の方が大学院生よりマルチメディア機器の利用が多い。

質問4-14.　もっとも最近図書館を利用したとき情報コンセントを利用した。(三田のみ)
もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	11	11.2	5	8.5	16	10.2
いいえ	87	88.8	54	91.5	141	89.8
合計	98	100	59	100	157	100

○ 特になし。

質問4-15.　もっとも最近図書館を利用したときPC相談カウンターで利用相談を利用した
もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	16	16.3	9	15.3	25	15.9
いいえ	82	83.7	50	84.7	132	84.1
合計	98	100	59	100	157	100

○ 特になし。

質問4-16.　もっとも最近図書館を利用したとき上記以外を利用した(既述回答)

	学部生			大学院生		
	上ケ原	三田	合計	上ケ原	三田	合計
講演会	0	0	0	1	0	1
オンラインデータベース講習	0	0	0	1	0	1
見学	0	0	0	1	0	1
コピー機利用	5	0	5	0	0	0
マイクロリーダ利用	1	0	1	0	0	0
文献複写依頼	0	1	1	0	0	0
アルカディア	0	0	0	9	1	10
トイレ利用	1	0	1	0	0	0
産研の利用	0	1	1	0	0	0
合計	7	2	9	12	1	13

○ 特になし。

質問5.　私語や携帯電話について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	302	66.7	61	55.5	363	64.5	207	75.8	48	77.4	255	75.9
気にならない	151	33.3	49	44.5	200	35.5	67	24.2	14	22.6	81	24.1
合計	453	100	110	100	563	100	274	100	62	100	336	100

学部別

	学部生　上ケ原													
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	1	50.0	90	72.6	69	68.3	61	64.9	36	58.1	45	64.3	302	66.7
気にならない	1	50.0	34	27.4	32	31.7	33	35.1	26	41.9	25	35.7	151	33.3
合計	2	100	124	100	101	100	94	100	62	100	70	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	23	57.5	38	54.3	61	55.5
気にならない	17	42.5	32	45.7	49	44.5
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	10	71.4	59	79.7	17	65.4	23	76.7	13	86.7	31	86.1	8	88.9	19	76.0	27	60.0	207	75.5
気にならない	4	28.6	15	20.3	9	34.6	7	23.3	2	13.3	5	13.9	1	11.1	6	24.0	18	40.0	67	24.5
合計	14	100	74	100	26	100	30	100	15	100	36	100	9	100	25	100	45	100	274	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	32	76.2	15	78.9	1	100.0	48	77.4
気にならない	10	23.8	4	21.1	0	0.0	14	22.6
合計	42	100	19	100	1	100	62	100

○ 大学院生の方が学部生より私語や携帯電話を気にする人の割合が高い。
また学部生では上ケ原の方が三田より私語や携帯電話を気にする人の割合が高い。
研究科別では司法研究科で私語や携帯電話を気にする人の割合が低い。

質問6.　貸出返却カウンターの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	406	89.6	102	92.7	508	90.2	264	95.7	58	93.5	322	95.3
利用したことなし	47	10.4	8	7.3	55	9.8	12	4.3	4	6.5	16	4.7
合計	453	100	110	100	563	100	276	100	62	100	338	100

○ 大学院生の方が学部生より貸出返却カウンターを利用したことのある人の割合が高い。

質問7.　もっとも最近貸出返却カウンターを利用した際の職員の対応について
質問6で「利用したことがある」と答えた方のみ

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
親切だった	303	73.9	92	94.8	395	77.9	215	82.1	54	94.7	269	84.3
親切でなかった	107	26.1	5	5.2	112	22.1	47	17.9	3	5.3	50	15.7
合計	410	100	97	100	507	100	262	100	57	100	319	100

○ 大学院生の方が学部生より貸出返却カウンターの職員の対応が親切と感じた人の割合が高い。
また三田の方が上ケ原より貸出返却カウンターの職員の対応が親切と感じた人の割合が高い。

質問8．　レファレンスカウンターの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	172	38.2	48	44.0	220	39.4	209	77.4	44	72.1	253	76.4
利用したことなし	278	61.8	61	56.0	339	60.6	61	22.6	17	27.9	78	23.6
合計	450	100	109	100	559	100	270	100	61	100	331	100

○ 大学院生の方が学部生よりレファレンスカウンターを利用したことのある人の割合が高い。
また学部生では三田の方が上ケ原よりレファレンスカウンターを利用したことのある人の割合が高い。

質問9．　もっとも最近レファレンスカウンターを利用した際の職員の対応について
質問8で「利用したことがある」と答えた方のみ

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
親切だった	132	75.9	42	95.5	174	79.8	189	90.0	42	97.7	231	91.3
親切でなかった	42	24.1	2	4.5	44	20.2	21	10.0	1	2.3	22	8.7
合計	174	100	44	100	218	100	210	100	43	100	253	100

○ 大学院生の方が学部生よりレファレンスカウンターの職員の対応が親切と感じた人の割合が高い。
また三田の方が上ケ原よりレファレンスカウンターの職員の対応が親切と感じた人の割合が高い。

質問10．　もっとも最近レファレンスカウンターを利用した際の回答について
質問8で「利用したことがある」と答えた方のみ

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
得られた	138	80.2	40	90.9	178	82.4	189	90.0	40	93.0	229	90.5
得られなかった	34	19.8	4	9.1	38	17.6	21	10.0	3	7.0	24	9.5
合計	172	100	44	100	216	100	210	100	43	100	253	100

○ 大学院生の方が学部生よりレファレンスカウンターで回答を得られたとする人の割合が高い。
また学部生では三田の方が上ケ原よりレファレンスカウンターで回答を得られたとする人の割合が高い。

質問11．　もっとも最近図書館を利用したときのＯＰＡＣ利用について
質問1で「図書上ケ原キャンパス大学図書館」と答えた方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用できた	370	83.9	221	85.3	591	84.4
利用できなかった	71	16.1	38	14.7	109	15.6
合計	441	100	259	100	700	100

○ 特になし。

質問12．　もっとも最近図書館を利用したときのパソコン利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用できた	181	39.6	28	28.9	209	37.7	93	36.3	35	66.0	128	41.4
利用できなかった	276	60.4	69	71.1	345	62.3	163	63.7	18	34.0	181	58.6
合計	457	100	97	100	554	100	256	100	53	100	309	100

○ 学部生では上ケ原の方が三田より、大学院生では三田の方が上ケ原よりパソコンを利用できたとする人の割合が高い。

質問13．　視聴覚資料利用コーナーの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	223	49.4	47	42.7	270	48.1	91	33.0	15	24.6	106	31.5
利用したことなし	207	45.9	47	42.7	254	45.3	165	59.8	43	70.5	208	61.7
存在知らなかった	21	4.7	16	14.5	37	6.6	20	7.2	3	4.9	23	6.8
合計	451	100	110	100	561	100	276	100	61	100	337	100

○ 学部生の方が大学院生より視聴覚資料を利用しことのある人の割合が高い。
また上ケ原の方が三田より視聴覚資料を利用したことのある人の割合が高く、学部生では上ケ原の方が三田より視聴覚資料の認知度も高い。

質問14．　グループ閲覧室の利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	213	47.1	71	64.5	284	50.5	121	43.8	16	26.2	137	40.7
利用したことなし	225	49.8	32	29.1	257	45.7	138	50.0	42	68.9	180	53.4
存在知らなかった	14	3.1	7	6.4	21	3.7	17	6.2	3	4.9	20	5.9
合計	452	100	110	100	562	100	276	100	61	100	337	100

○ 学部生の方が大学院生よりグループ閲覧室を利用しことのある人の割合が高い。
また学部生では三田の方が上ケ原より、大学院生では上ケ原の方が三田よりグループ閲覧室を利用したことのある人の割合が高い。

質問15．　もっとも最近図書を探したときにその資料があったか

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
あった	312	68.3	69	65.7	381	67.8	161	58.1	42	68.9	203	60.1
なかった	123	26.9	30	28.6	153	27.2	109	39.4	16	26.2	125	37.0
探したことがない	22	4.8	6	5.7	28	5.0	7	2.5	3	4.9	10	3.0
合計	457	100	105	100	562	100	277	100	61	100	338	100

○ 学部生の方が大学院生より図書を見つけられた人の割合が高い。
また大学院生では三田の方が上ケ原より図書を見つけられた人の割合が高い。

質問16．　もっとも最近雑誌を探したときにその資料があったか

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
あった	166	36.2	34	32.4	200	35.5	131	48.0	31	50.8	162	48.5
なかった	71	15.5	15	14.3	86	15.3	87	31.9	17	27.9	104	31.1
探したことがない	221	48.3	56	53.3	277	49.2	55	20.1	13	21.3	68	20.4
合計	458	100	105	100	563	100	273	100	61	100	334	100

○ 大学院生の方が学部生より雑誌を見つけられた人の割合が高く、探したことのある人の割合も高い。
また学部生では上ケ原の方が三田より雑誌を探したことのある人の割合が高い。

質問17．　もっとも最近視聴覚資料を探したときにその資料があったか

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
あった	115	25.1	25	23.8	140	24.9	47	17.1	8	13.1	55	16.4
なかった	60	13.1	6	5.7	66	11.7	19	6.9	4	6.6	23	6.8
探したことがない	283	61.8	74	70.5	357	63.4	209	76.0	49	80.3	258	76.8
合計	458	100	105	100	563	100	275	100	61	100	336	100

○ 学部生の方が大学院生より視聴覚資料を見つけられた人の割合が高く、探したことのある人の割合も高い。
また学部生では上ケ原の方が三田より視聴覚資料を探したことのある人の割合が高い。

質問18．資料の充実度について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	250	55.7	42	38.2	292	52.2	121	45.7	15	25.0	136	41.2
揃っていない	199	44.3	68	61.8	267	47.8	149	54.3	45	75.0	194	58.8
合計	449	100	110	100	559	100	270	100	60	100	330	100

学部別

	学部生　上ケ原													
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	2	100.0	68	54.4	48	49.0	62	66.7	31	50.8	39	55.7	250	55.7
揃っていない	0	0.0	57	45.6	50	51.0	31	33.3	30	49.2	31	44.3	199	44.3
合計	2	100	125	100	98	100	93	100	61	100	70	100	449	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	18	45.0	24	34.3	42	38.2
揃っていない	22	55.0	46	65.7	68	61.8
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	4	28.6	21	29.2	6	23.1	20	66.7	10	66.7	23	67.6	4	44.4	14	56.0	19	42.2	121	44.8
揃っていない	10	71.4	51	70.8	20	76.9	10	33.3	5	33.3	11	32.4	5	55.6	11	44.0	26	57.8	149	55.2
合計	14	100	72	100	26	100	30	100	15	100	34	100	9	100	25	100	45	100	270	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	12	28.6	3	17.6	0	0.0	15	25.0
揃っていない	30	71.4	14	82.4	1	100.0	45	75.0
合計	42	100	17	100	1	100	60	100

大部生の方が大学院生より資料が十分揃っていると感じている人の割合が高い。
また上ケ原の方が三田より資料が十分揃っていると感じている人の割合が高い。
○ 学部別では法学部で資料が十分揃っていると感じている人の割合が高く、その反対に総合政策学部で低い。研究科別では法学・経済学・商学・言コミの各研究科で資料が十分揃っていると感じている人の割合が高く、その反対に社会学・文学・総合政策学、理工学の各研究科で低い。

質問19．外国語テレビ放送の利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	2	0.4	6	5.5	8	1.4	1	0.4	5	8.2	6	1.8
利用したことなし	134	29.6	63	57.3	197	35.1	117	42.4	42	68.9	159	47.2
存在知らなかった	316	69.9	41	37.3	357	63.5	158	57.2	14	23.0	172	51.0
合計	452	100	110	100	562	100	276	100	61	100	337	100

○ 三田の方が上ケ原よりも外国語テレビ放送を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。

質問20．オンライン・データベースの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	139	30.8	48	43.6	187	33.3	205	75.4	42	68.9	247	73.7
利用したことなし	129	28.5	31	28.2	160	28.5	44	15.4	15	24.6	59	17.6
存在知らなかった	184	40.7	31	28.2	215	38.3	25	9.2	4	6.6	29	8.7
合計	452	100	110	100	562	100	274	100	61	100	335	100

学部別

	学部生　上ケ原													
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	40	32.0	42	42.0	25	26.9	14	22.6	18	25.7	139	30.8
利用したことなし	1	50.0	35	28.0	25	25.0	32	34.4	16	25.8	20	28.6	129	28.5
存在知らなかった	1	50.0	50	40.0	33	33.0	36	38.7	32	51.6	32	45.7	184	40.7
合計	2	100	125	100	100	100	93	100	62	100	70	100	452	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	15	37.5	33	47.1	48	43.6
利用したことなし	10	25.0	21	30.0	31	28.2
存在知らなかった	15	37.5	16	22.9	31	28.2
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	9	64.3	60	81.1	23	88.5	24	80.0	12	80.0	23	63.9	8	88.9	16	64.0	30	66.7	205	74.8
利用したことなし	4	28.6	11	14.9	1	3.8	5	16.7	3	20.0	7	19.4	1	11.1	6	24.0	6	13.3	44	16.1
存在知らなかった	1	7.1	3	4.1	2	7.7	1	3.3	0	0.0	6	16.7	0	0.0	3	12.0	9	20	25	9.1
合計	14	100	74	100	26	100	30	100	15	100	36	100	9	100	25	100	45	100	274	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	28	66.7	13	72.2	1	100.0	42	68.9
利用したことなし	12	28.6	3	16.7	0	0.0	15	24.6
存在知らなかった	2	4.8	2	11.1	0	0.0	4	6.6
合計	42	100	18	100	1	100	61	100

大学院生の方が学部生よりデータベースを利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また学部生では三田の方が上ケ原より、大学院生では上ケ原の方が三田よりデータベースを利用したことのある人の割合が高く、学部生では三田の方が上ケ原より認知度も高い。
○ 学部別では総合政策・社会の各学部でデータベースを利用したことのある人の割合が高く、経済学部で低い。認知度は総合政策学部で高く、経済学部で低い。研究科別では社会学研究科でデータベースを利用したことのある人の割合が高く、商学・言コミの各研究科で低い。

質問21．　電子ジャーナルの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	20	4.4	15	13.6	35	6.2	62	23.6	31	50.8	93	27.8
利用したことなし	116	25.6	37	33.6	153	27.2	114	42.1	18	29.5	132	39.5
存在知らなかった	317	70.0	58	52.7	375	66.6	97	34.4	12	19.7	109	32.6
合計	453	100	110	100	563	100	273	100	61	100	334	100

学部別

	学部生　上ケ原											
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	2	1.6	10	9.9	5	5.3	0	0.0	3	4.3	20	4.4
利用したことなし	0	0.0	40	32.0	27	26.7	24	25.5	14	22.6	11	15.9	116	25.6
存在知らなかった	2	100.0	83	66.4	64	63.4	65	69.1	48	77.4	55	79.7	317	70.0
合計	2	100	125	100	101	100	94	100	62	100	69	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	7	17.5	8	11.4	15	13.6
利用したことなし	11	27.5	26	37.1	37	33.6
存在知らなかった	22	55.0	36	51.4	58	52.7
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																	
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	1	7.1	19	25.7	14	53.8	6	20.7	6	40.0	9	25.0	3	33.3	4	16.0	0	0.0	62	22.7
利用したことなし	5	35.7	26	35.1	9	34.6	15	51.7	6	40.0	16	44.4	4	44.4	11	44.0	22	48.9	114	41.8
存在知らなかった	8	57.1	29	39.2	3	11.5	8	27.6	3	20.0	11	30.6	2	22.2	10	40.0	23	51.1	97	35.5
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	36	100	9	100	25	100	45	100	273	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	24	57.1	7	38.9	0	0.0	31	50.8
利用したことなし	11	26.2	6	33.3	1	100.0	18	29.5
存在知らなかった	7	16.7	5	27.8	0	0.0	12	19.7
合計	42	100	18	100	1	100	61	100

○ 大学院生の方が学部生より電子ジャーナルを利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また三田の方が上ケ原より電子ジャーナルを利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
学部別では理工学部でデータベースを利用したことのある人の割合が高い。認知度は総合政策・理工の各学部で高く、法・経済・商の各学部で低い。研究科別では社会学・理工・総合政策の各研究科で電子ジャーナルを利用したことのある人の割合が高く、言コミ・司法の各研究科で低い。認知度は社会学・理工の各研究科で高く、司法研究科で低い。

質問22．　図書館報「時計台」について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
読んだことあり	48	10.6	8	7.3	56	9.9	79	28.8	19	31.1	98	29.3
読んだことなし	185	40.8	46	41.8	231	41.0	107	39.1	29	47.5	136	40.6
存在知らなかった	220	48.6	56	50.9	276	49.0	88	32.1	13	21.3	101	30.1
合計	453	100	110	100	563	100	274	100	61	100	335	100

○ 大学院生の方が学部生より図書館報を読んだことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また大学院生では三田の方が上ケ原より図書館報を読んだことのある人の割合が高く、認知度も高い。

質問23．　2004年度秋季特別展示について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
見た	140	30.9	4	3.6	144	25.6	107	38.9	4	6.6	111	33.0
見なかった	250	55.2	35	31.8	285	50.6	144	52.4	32	52.5	176	52.4
存在知らなかった	63	13.9	71	64.5	134	23.8	24	8.7	25	41.0	49	14.6
合計	453	100	110	100	563	100	275	100	61	100	336	100

○ 大学院生の方が学部生より秋季特別展示について認知度が高い。
また上ケ原の方が三田より秋季特別展示を見た人の割合が高く、認知度も高い。

質問24．　2004年11月開催学術資料講演会について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
知っていた	139	30.7	10	9.1	149	26.5	106	38.5	10	16.4	116	34.5
知らなかった	314	69.3	100	90.9	414	73.5	169	61.5	51	83.6	220	65.5
合計	453	100	110	100	563	100	275	100	61	100	336	100

○ 大学院生の方が学部生より学術資料講演会を知っていた人の割合が高い。
また上ケ原の方が三田より学術資料講演会を知っていた人の割合が高い。

質問25．　日曜開館について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
知っていた	207	45.7	45	40.9	252	44.8	165	60.0	34	55.7	199	59.2
知らなかった	246	54.3	65	59.1	311	55.2	110	40.0	27	44.3	137	40.8
合計	453	100	110	100	563	100	275	100	61	100	336	100

○ 大学院生の方が学部生より日曜開館を知っていた人の割合が高い。

質問26．　日曜開館の認知媒体について
質問25で「知っていた」と答えた方のみ

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
図書館ホームページ	20	9.6	8	17.8	28	11.1	55	33.7	9	26.5	64	32.5
関学ジャーナル	19	9.1	0	0.0	19	7.5	15	9.2	1	2.9	16	8.1
館内掲示	61	29.3	15	33.3	76	30.0	33	20.2	11	32.4	44	22.3
口コミ	88	42.3	19	42.2	107	42.3	50	30.7	9	26.5	59	29.9
その他	20	9.6	3	6.7	23	9.1	10	6.1	4	11.8	14	7.1
合計	208	100	45	100	253	100	163	100	34	100	197	100

その他の内訳

	学部生				大学院生		
	上ケ原	三田	NA	合計	上ケ原	三田	合計
行ってみたら開いていた等	9	1	1	11	1	1	2
備え付け配布物（カレンダー等）	4	2	0	6	8	1	9
図書館員から情報を得た等	2	0	0	2	0	1	1
ネット掲示板	2	0	0	2	0	0	0
不明	1	1	0	2	0	1	1
合計	18	4	1	23	9	4	13

○ 大学生の方が大学院生より館内掲示、口コミで認知した人の割合が高く、大学院生の方が大学生より図書館ホームページで認知した人の割合が高い。
大学生では三田の方が図書館ホームページで認知した人の割合が高く、上ケ原は関学ジャーナルで認知した人の割合が高い。大学院

質問27-1.　学外相互利用・文献複写サービスの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	22	4.9	7	6.4	29	5.2	109	39.9	32	51.6	141	42.1
利用したことなし	198	43.7	49	44.5	247	43.9	138	50.5	20	32.3	158	47.2
存在知らなかった	233	51.4	54	49.1	287	51.0	26	9.5	10	16.1	36	10.7
合計	453	100	110	100	563	100	273	100	62	100	335	100

学部別

	学部生　上ケ原											
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	1	50.0	6	4.8	10	9.9	3	3.2	1	1.6	1	1.4	22	4.9
利用したことなし	1	50.0	66	52.8	49	48.5	38	40.4	20	32.3	24	34.8	198	43.7
存在知らなかった	0	0.0	53	42.4	42	41.6	53	56.4	41	66.1	44	63.8	233	51.4
合計	2	100	125	100	101	100	94	100	62	100	69	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	3	7.5	4	5.7	7	6.4
利用したことなし	17	42.5	32	45.7	49	44.5
存在知らなかった	20	50.0	34	48.6	54	49.1
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	3	21.4	51	68.9	13	50.0	13	44.8	5	33.3	9	25.0	5	55.6	8	32.0	2	4.4	109	39.9
利用したことなし	11	78.6	20	27.0	12	46.2	14	48.3	9	60.0	19	52.8	4	44.4	16	64.0	33	73.3	138	50.5
存在知らなかった	0	0.0	3	4.1	1	3.8	2	6.9	1	6.7	8	22.2	0	0.0	1	4.0	10	22.2	26	9.5
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	36	100	9	100	25	100	45	100	273	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	22	52.4	10	52.6	0	0.0	32	51.6
利用したことなし	12	28.6	7	36.8	1	100.0	20	32.3
存在知らなかった	8	19.0	2	10.5	0	0.0	10	16.1
合計	42	100	19	100	1	100	62	100

○ 大学院生の方が学部生より学外文献複写を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また大学院生では三田の方が上ケ原より学外文献複写を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
学部別では商・経済の各学部で認知度が低い。研究科別では文学研究科で学外文献複写を利用したことのある人の割合が高く、商学・言コミ・司法の各研究科で低い。認知度は商学、司法の各研究科で低い。

質問27-2.　学外相互利用・図書貸借サービスの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	11	2.4	5	4.5	16	2.8	56	20.6	11	17.7	67	20.1
利用したことなし	212	46.8	55	50.0	267	47.4	185	68.0	40	64.5	225	67.4
存在知らなかった	230	50.8	50	45.5	280	49.7	31	11.4	11	17.7	42	12.6
合計	453	100	110	100	563	100	272	100	62	100	334	100.1

学部別

	学部生　上ケ原											
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	1	50.0	4	3.2	6	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	2.4
利用したことなし	1	50.0	72	57.6	52	51.5	38	40.4	22	35.5	27	39.1	212	46.8
存在知らなかった	0	0.0	49	39.2	43	42.6	56	59.6	40	64.5	42	60.9	230	50.8
合計	2	100	125	100	101	100	94	100	62	100	69	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	1	2.5	4	5.7	5	4.5
利用したことなし	20	50.0	35	50.0	55	50.0
存在知らなかった	19	47.5	31	44.3	50	45.5
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	3	21.4	25	33.8	10	38.5	3	10.3	6	40.0	4	11.4	1	11.1	3	12.0	1	2.2	56	20.6
利用したことなし	11	78.6	41	55.4	15	57.7	24	82.8	8	53.3	23	65.7	8	88.9	21	84.0	34	75.6	185	68.0
存在知らなかった	0	0.0	8	10.8	1	3.8	2	6.9	1	6.7	8	22.9	0	0.0	1	4.0	10	22.2	31	11.4
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	35	100	9	100	25	100	45	100	272	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	5	11.9	6	31.6	0	0.0	11	17.7
利用したことなし	28	66.7	11	57.9	1	100.0	40	64.5
存在知らなかった	9	21.4	2	10.5	0	0.0	11	17.7
合計	42	100.0	19	100	1	100	62	100

○ 大学院生の方が学部生より学外図書貸借を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また学部生では三田の方が上ケ原より認知度が高く、大学院生では上ケ原の方が三田より認知度が高い。
学部別では商・経済の各学部で認知度が低い、研究科別では文学・社会・経済・総合政策の各研究科で学外図書貸借を利用したことのある人の割合が高く、法・司法の各研究科で低い。

質問27-3.　学外相互利用・紹介状の利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	2	0.4	0	0.0	2	0.4	52	19.1	5	8.2	57	17.1
利用したことなし	207	45.7	49	44.5	256	45.5	184	67.6	42	68.9	226	67.9
存在知らなかった	244	53.9	61	55.5	305	54.2	36	13.2	14	23.0	50	15.0
合計	453	100	110	100	563	100	272	100	61	100	333	100

学部別

	学部生　上ケ原											
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	0	0.0	2	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.4
利用したことなし	1	50.0	70	56.0	55	54.5	36	38.3	20	32.3	25	36.2	207	45.7
存在知らなかった	1	50.0	55	44.0	44	43.6	58	61.7	42	67.7	44	63.8	244	53.9
合計	2	100	125	100	101	100	94	100	62	100	69	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	0	0.0	0	0.0
利用したことなし	18	45.0	31	44.3	49	44.5
存在知らなかった	22	55.0	39	55.7	61	55.5
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	1	7.1	27	36.5	2	7.7	10	34.5	6	40.0	2	5.7	0	0.0	3	12.0	1	2.2	52	19.1
利用したことなし	12	85.7	41	55.4	22	84.6	16	55.2	7	46.7	25	71.4	8	88.9	20	80.0	33	73.3	184	67.6
存在知らなかった	1	7.1	6	8.1	2	7.7	3	10.3	2	13.3	8	22.9	1	11.1	2	8.0	11	24.4	36	13.2
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	35	100	9	100	25	100	45	100	272	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	5	26.3	0	0.0	5	8.2
利用したことなし	29	70.7	12	63.2	1	100.0	42	68.9
存在を知らない	12	29.3	2	10.5	0	0.0	14	23.0
合計	41	100.0	19	100	1	100	61	100

○ 大学院生の方が学部生より紹介状を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また大学院生では上ケ原の方が三田より紹介状を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
学部別では社会学部で認知度が高く、経済学部で低い。研究科別では文学・法学・経済・総合政策の各研究科で紹介状を利用したことのある人の割合が高く、社会・商学・司法・理工の各研究科で低い。認知度は理工研究科で低い。

質問28-1.　学内相互利用・文献複写サービスの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	12	2.6	9	8.2	21	3.7	41	15.0	17	27.4	58	17.3
利用したことなし	254	56.1	68	61.8	322	57.2	195	71.4	39	62.9	234	69.9
存在知らなかった	187	41.3	33	30.0	220	39.1	37	13.6	6	9.7	43	12.8
合計	453	100	110	100	563	100	273	100	62	100	335	100

学部別

	学部生　上ケ原													
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	2	1.6	5	5.0	2	2.1	1	1.6	2	2.9	12	2.6
利用したことなし	1	50.0	78	62.4	66	65.3	45	47.9	25	40.3	39	56.5	254	56.1
存在知らなかった	1	50.0	45	36.0	30	29.7	47	50.0	36	58.1	28	40.6	187	41.3
合計	2	100	125	100	101	100	94	100	62	100	69	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	9	12.9	9	8.2
利用したことなし	26	65.0	42	60.0	68	61.8
存在知らなかった	14	35.0	19	27.1	33	30.0
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	2	14.3	14	18.9	6	23.1	4	13.8	4	26.7	3	8.3	2	22.2	5	20.0	1	2.2	41	15.0
利用したことなし	9	64.3	53	71.6	18	69.2	18	62.1	11	73.3	28	77.8	7	77.8	17	68.0	34	75.6	195	71.4
存在知らなかった	3	21.4	7	9.5	2	7.7	7	24.1	0	0.0	5	13.9	0	0.0	3	12.0	10	22.2	37	13.6
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	36	100	9	100	25	100	45	100	273	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	8	19.0	9	47.4	0	0.0	17	27.4
利用したことなし	29	69.0	9	47.4	1	100.0	39	62.9
存在知らなかった	5	11.9	1	5.3	0	0.0	6	9.7
合計	42	100	19	100	1	100	62	100

○ 大学院生の方が学部生より学内文献複写を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また大学院生では上ケ原の方が三田より紹介状を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
学部別では法・経済の各学部で認知度が低い。研究科別では総合政策研究科で学内文献複写を利用したことのある人の割合が高く、司法研究科で低い。認知度は法学研究科で低い。

質問28-2.　学内相互利用・資料取り寄せサービスの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	31	6.9	27	24.5	58	10.3	89	32.6	23	37.1	112	33.4
利用したことなし	248	54.9	63	57.3	311	55.3	149	54.6	33	53.2	182	54.3
存在知らなかった	173	38.3	20	18.2	193	34.3	35	12.8	6	9.7	41	12.2
合計	452	100	110	100	562	100	273	100	62	100	335	100

学部別

	学部生　上ケ原													
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	4	3.2	15	14.9	6	6.4	3	4.8	3	4.3	31	6.9
利用したことなし	1	50.0	82	66.1	61	60.4	41	43.6	23	37.1	40	58.0	248	54.9
存在知らなかった	1	50.0	38	30.6	25	24.8	47	50.0	36	58.1	26	37.7	173	38.3
合計	2	100	124	100	101	100	94	100	62	100	69	100	452	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	5	12.5	22	31.4	27	24.5
利用したことなし	25	62.5	38	54.3	63	57.3
存在知らなかった	10	25.0	10	14.3	20	18.2
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		社会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	6	42.9	24	32.4	15	57.7	5	17.2	10	66.7	8	22.2	5	55.6	11	44.0	5	11.1	89	32.6
利用したことなし	5	35.7	42	56.8	9	34.6	19	65.5	5	33.3	23	63.9	4	44.4	11	44.0	31	68.9	149	54.6
存在知らなかった	3	21.4	8	10.8	2	7.7	5	17.2	0	0.0	5	13.9	0	0.0	3	12.0	9	20	35	12.8
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	36	100	9	100	25	100	45	100	273	100

	大学院生　三田							
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	12	28.6	11	57.9	0	0.0	23	37.1
利用したことなし	25	59.5	7	36.8	1	100.0	33	53.2
存在知らなかった	5	11.9	1	5.3	0	0.0	6	9.7
合計	42	100	19	100	1	100	62	100

○ 大学院生の方が学部生より資料取り寄せを利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また三田の方が上ケ原より資料取り寄せを利用したことのある人の割合が高く、学部生では三田の方が上ケ原より認知度も高い。
学部別では総合政策学部で資料取り寄せを利用したことのある人の割合が高い。認知度は総合政策学部で高く、法・経済の各学部で低い。研究科別では社会・経済・総合政策の各研究科で資料取り寄せを利用したことのある人の割合が高く、法学・商学・司法の各研究科で低い。認知度は経済学研究科で高い。

質問29．　レファレンスカウンターでの利用相談について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	132	29.1	35	31.8	167	29.7	167	61.4	37	60.7	204	61.3
利用したことなし	241	53.2	59	53.6	300	53.3	95	34.9	22	36.1	117	35.1
存在知らなかった	80	17.7	16	14.5	96	17.1	10	3.7	2	3.3	12	3.6
合計	453	100	110	100	563	100	272	100	61	100	333	100

学部別

	学部生　上ケ原													
	神学部		文学部		社会学部		法学部		経済学部		商学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	0	0.0	39	31.2	33	32.7	26	27.7	13	21.0	21	30.4	132	29.1
利用したことなし	2	100.0	78	62.4	54	53.5	48	51.1	29	46.8	30	43.5	241	53.2
存在知らなかった	0	0.0	8	6.4	14	13.9	20	21.3	20	32.3	18	26.1	80	17.7
合計	2	100	125	100	101	100	94	100	62	100	69	100	453	100

	学部生　三田					
	理工学部		総合政策学部		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	7	17.5	28	40.0	35	31.8
利用したことなし	24	60.0	35	50.0	59	53.6
存在知らなかった	9	22.5	7	10.0	16	14.5
合計	40	100	70	100	110	100

研究科別

	大学院生　上ケ原																			
	神学研究科		文学研究科		会学研究科		法学研究科		経済学研究科		商学研究科		総合政策		言コミ		司法研究科		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	10	71.4	48	64.9	18	69.2	17	58.6	11	73.3	15	42.9	9	100.0	18	72.0	21	46.7	167	61.4
利用したことなし	4	28.6	25	33.8	6	23.1	11	37.9	4	26.7	18	51.4	0	0.0	6	24.0	21	46.7	95	34.9
存在知らなかった	0	0.0	1	1.4	2	7.7	1	3.4	0	0.0	2	5.7	0	0.0	1	4.0	3	6.7	10	3.7
合計	14	100	74	100	26	100	29	100	15	100	35	100	9	100	25	100	45	100	272	100

	大学院生　三田						
	理工学研究科		総合政策		言コミ		合計
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	19	46.3	17	89.5	1	100.0	37	60.7
利用したことなし	21	51.2	1	5.3	0	0.0	22	36.1
存在知らなかった	1	2.4	1	5.3	0	0.0	2	3.3
合計	41	100	19	100	1	100	61	100

○ 学部別では総合政策学部でレファレンスカウンターを利用したことのある人の割合が高く、経済・理工の各学部で低い。認知度は経済学部で低い。研究科別では経済・総合政策の各研究科でレファレンスカウンターを利用したことのある人の割合が高く、商学・司法・理工の各研究科で低い。

質問30．　購入希望図書・資料の申込について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	6	1.3	3	2.7	9	1.6	28	10.2	10	16.1	38	11.3
利用したことなし	258	57.1	63	57.3	321	57.1	161	58.5	41	66.1	202	59.9
存在知らなかった	188	41.6	44	40.0	232	41.3	86	31.3	11	17.7	97	28.8
合計	452	100	110	100	562	100	275	100	62	100	337	100

○ 大学院生の方が学部生より購入希望を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また大学院では三田の方が上ケ原より購入希望を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。

質問31．　講習会の受講について
質問1で「西宮上ケ原キャンパス大学図書館」と答えた方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
受講したことあり	113	25.7	69	25.5	182	25.6
受講したことなし	158	35.9	151	55.7	309	43.5
存在知らなかった	169	38.4	51	18.8	220	30.9
合計	440	100	271	100	711	100

○ 大学院生の方が学部生より図書館主催の講習会の認知度が高い。

質問32－1．　開館日の要望について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	180	39.7	48	46.2	228	40.9	150	54.9	18	30.5	168	50.6
要望なし	273	60.3	56	53.8	329	59.1	123	45.1	41	69.5	164	49.4
合計	453	100	104	100	557	100	273	100	59	100	332	100

○ 大学院生の方が学部生より要望のある人の割合が高い。
また学部生では三田の方が上ケ原より、大学院では上ケ原の方が三田より要望のある人の割合が高い。

質問32－2．　開館日要望の内容について

	学部生			大学院生		
	上ケ原	三田	合計	上ケ原	三田	合計
試験期の日曜に開館して欲しい	9	1	10	3	0	3
祝日に開館してほしい	4	2	6	4	0	4
すべての日曜に開館して欲しい	2	0	2	1	0	1
365日すべて開館して欲しい	2	0	2	4	0	4
無効	19	4	23	8	1	9
合計	36	7	43	20	1	21

○ 特になし。

質問32－3．　開館・開館時間の要望について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	140	31.7	45	42.5	185	33.8	97	36.5	10	16.7	107	32.8
要望なし	301	68.3	61	57.5	362	66.2	169	63.5	50	83.3	219	67.2
合計	441	100	106	100	547	100	266	100	60	100	326	100

○ 学部生では三田の方が上ケ原より、大学院では上ケ原の方が三田より要望のある人の割合が高い。

質問32－4．　開館・開館時間要望の内容について

	学部生			大学院生			
	上ケ原	三田	合計	上ケ原	三田	NA	合計
２４時間開館	3	0	3	22	1	1	24
土日の時間延長	11	3	14	4	4	0	8
土曜おそくまで	9	2	11	2	0	0	2
日曜遅くまで	4	3	7	1	0	0	1
休暇期間の時間延長	6	3	9	0	0	0	0
試験期もっと長く開館	2	1	3	0	0	0	0
リファレンスカウンタの時間帯延長	2	1	3	0	0	0	0
毎日同じ時間帯での開館	2	0	2	0	0	0	0
無効	4	1	5	0	0	0	0
合計	43	14	57	29	5	1	35

○ 特になし。

質問33－1．　OPACの利用について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	406	90.4	99	90.8	505	90.5	255	93.4	54	90.0	309	92.8
利用したことなし	35	7.8	5	4.6	40	7.2	12	4.4	4	6.7	16	4.8
存在知らなかった	8	1.8	5	4.6	13	2.3	6	2.2	2	3.3	8	2.4
合計	449	100	109	100	558	100	273	100	60	100	333	100

○ 特になし。

質問33－2．　OPACにある図書予約機能について
質問33－1で「利用したことがある」と答えた方のみ

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	27	6.6	15	15.3	42	8.3	50	19.6	10	18.2	60	19.4
利用したことなし	273	66.9	67	68.4	340	67.2	177	69.4	37	67.3	214	69.0
存在知らなかった	108	26.5	16	16.3	124	24.5	28	11.0	8	14.5	36	11.6
合計	408	100	98	100	506	100	255	100	55	100	310	100

○ 大学院生の方が学部生よりＯＰＡＣからの予約を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。
また学部生では三田の方が上ケ原よりＯＰＡＣからの予約を利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。

質問３３－３．　OPACにある文献複写依頼機能の利用について
大学院生かつ、質問３３－１で「利用したことがある」と答えた方のみ

	大学院生					
	上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	40	17.0	19	40.4	59	20.9
利用したことなし	130	55.3	16	34.0	146	51.8
存在知らなかった	65	27.7	12	25.5	77	27.3
合計	235	100	47	100	282	100

○　三田の方が上ケ原よりＯＰＡＣからの複写依頼を利用したことのある人の割合が高い。

質問３３－４．　OPACにある利用問い合わせ機能の利用について
質問３３－１で「利用したことがある」と答えた方のみ

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	94	26.2	28	31.5	122	27.2	67	29.8	16	33.3	83	30.4
利用したことなし	114	31.8	29	32.6	143	31.9	92	40.9	20	41.7	112	41.0
存在知らなかった	151	42.1	32	36.0	183	40.8	66	29.3	12	25.0	78	28.6
合計	359	100	89	100	448	100	225	100	48	100	273	100

○　大学院生の方が学部生よりＯＰＡＣからの利用問い合わせの認知度が高い。
また学部生では三田の方が上ケ原よりＯＰＡＣからの利用問い合わせを利用したことのある人の割合が高く、認知度も高い。

質問３４．　「図書館の歩き方」パンフレットについて
質問１で「四葉上ケ原キャンパス大学図書館」と答えた方のみ

	学部生		大学院生		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
知っている	195	43.3	157	58.1	352	48.9
知らなかった	255	56.7	113	41.9	368	51.1
合計	450	100	270	100	720	100

○　大学院生の方が学部生より「図書館の歩き方」について知っている人の割合が高い。

質問３５．　図書館の満足度について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
満足	108	23.9	8	7.3	116	20.7	67	24.5	9	14.8	76	22.7
やや満足	270	59.9	61	56.0	331	59.1	153	55.8	37	60.7	190	56.7
やや不満	65	14.4	35	32.1	100	17.9	44	16.1	12	19.7	56	16.7
不満	8	1.8	5	4.6	13	2.3	10	3.6	3	4.9	13	3.9
合計	451	100	109	100	560	100	274	100	61	100	335	100

○　上ケ原の方が三田よりも満足している人の割合が高い。

質問３９．　性別について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
男性	191	42.1	47	43.1	238	42.3	158	57.0	39	62.9	197	58.1
女性	263	57.9	62	56.9	325	57.7	119	43.0	23	37.1	142	41.9
合計	454	100	109	100	563	100	277	100	62	100	339	100

質問４０．　居住形態について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
自宅	316	69.6	59	53.6	375	66.5	209	75.5	31	50.0	240	70.8
自宅外	138	30.4	51	46.4	189	33.5	68	24.5	31	50.0	99	29.2
合計	454	100	110	100	564	100	277	100	62	100	339	100

質問４１．　通学所要時間（片道）について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
３０分未満	125	27.5	29	26.6	154	27.4	75	27.1	26	41.9	101	29.8
１時間未満	96	21.1	25	22.9	121	21.5	61	22.0	9	14.5	70	20.6
１時間半未満	114	25.1	18	16.5	132	23.4	68	24.5	10	16.1	78	23.0
２時間未満	87	19.2	22	20.2	109	19.4	55	19.9	10	16.1	65	19.2
２時間以上	32	7.0	15	13.8	47	8.3	18	6.5	7	11.3	25	7.4
合計	454	100	109	100	563	100	277	100	62	100	339	100

質問４２．　受講数について

	学部生						大学院生					
	上ケ原		三田		合計		上ケ原		三田		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1	14	3.2	5	4.7	19	3.5	23	8.5	10	22.2	33	10.5
2	25	5.7	1	0.9	26	4.8	30	11.1	9	20.0	39	12.4
3	24	5.4	12	11.3	36	6.6	38	14.1	9	20.0	47	15.0
4	15	3.4	3	2.8	18	3.3	29	10.7	5	11.1	34	10.8
5	21	4.8	3	2.8	24	4.4	35	13.0	1	2.2	36	11.5
6	14	3.2	2	1.9	16	2.9	18	6.7	4	8.9	22	7.0
7	5	1.1			5	0.9	26	9.6	4	8.9	30	9.6
8	18	4.1	3	2.8	21	3.8	19	7.0			19	6.1
9	10	2.3	2	1.9	12	2.2	19	7.0			19	6.1
10	49	11.1	16	15.1	65	11.9	24	8.9	2	4.4	26	8.3
11	19	4.3	3	2.8	22	4.0	4	1.5			4	1.3
12	46	10.4	15	14.2	61	11.2	2	0.7			2	0.6
13	38	8.6	9	8.5	47	8.6	1	0.4	1	2.2	2	0.6
14	26	5.9	8	7.5	34	6.2	1	0.4				
15	54	12.2	8	7.5	62	11.3						
16	15	3.4	3	2.8	18	3.3						
17	12	2.7	1	0.9	13	2.4						
18	8	1.8	3	2.8	11	2.0						
19	5	1.1	1	0.9	6	1.1						
20	13	2.9	4	3.8	17	3.1						
21			1	0.9	1	0.2						
22			1	0.9	1	0.2	1	0.4			1	0.3
23	2	0.5	1	0.9	3	0.5						
24	4	0.9			4	0.7						
25	1	0.2			1	0.2						
26	1	0.2			1	0.2						
28	1	0.2	1	0.9	2	0.4						
36	1	0.2			1	0.2						
合計	441	100	106	100	547	100	270	100	45	100	314	100

相関関係

質問3．利用頻度と質問5．私語・形態電話について

学部生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
私語・形態	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	36	83.7	111	70.3	76	58.0	76	65.0	2	66.7	301	66.6	20	66.7	19	52.8	14	56.0	9	47.4	0	0.0	62	55.9
気にならない	7	16.3	47	29.7	55	42.0	41	35.0	1	33.3	151	33.4	10	33.3	17	47.2	11	44.0	10	52.6	1	100.0	49	44.1
合計	43	100	158	100	131	100	117	100	3	100	452	100	30	100	36	100	25	100	19	100	1	100	111	100

大学院生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
私語・形態	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
気になる	12	75.0	70	77.8	52	82.5	69	67.6	5	100.0	208	75.4	2	100.0	15	78.9	12	80.0	18	72.0	1	100.0	48	77.4
気にならない	4	25.0	20	22.2	11	17.5	33	32.4	0	0.0	68	24.6	0	0.0	4	21.1	3	20.0	7	28.0	0	0.0	14	22.6
合計	16	100	90	100	63	100	102	100	5	100	276	100	2	100	19	100	15	100	25	100	1	100	62	100

○ 学部生では利用頻度が高いほど私語・傾向を気にする傾向がやや見られる。

質問3．利用頻度と質問18．資料充実度について

学部生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
資料充実度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	16	37.2	85	54.5	74	56.9	72	62.1	2	66.7	249	55.6	6	20.0	14	38.9	13	52.0	9	47.4	0	0.0	42	37.8
揃っていない	27	62.8	71	45.5	56	43.1	44	37.9	1	33.3	199	44.4	24	80.0	22	61.1	12	48.0	10	52.6	1	100.0	69	62.2
合計	43	100	156	100	130	100	116	100	3	100	448	100	30	100	36	100	25	100	19	100	1	100	111	100

大学院生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
資料充実度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
揃っている	8	50.0	37	42.0	24	38.1	51	50.0	2	66.7	122	44.9	0	0.0	4	21.1	3	21.4	7	29.2	1	100.0	15	25.0
揃っていない	8	50.0	51	58.0	39	61.9	51	50.0	1	33.3	150	55.1	2	100.0	15	78.9	11	78.6	17	70.8	0	0.0	45	75.0
合計	16	100	88	100	63	100	102	100	3	100	272	100	2	100	19	100	14	100	24	100	1	100	60	100

○ 上ケ原の大学院生以外では、利用頻度が高いほど図書・資料が揃っていないと感じている傾向がある。

質問3．利用頻度と質問32-1．開館日要望について

学部生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
開館日要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	13	30.2	68	43.0	57	43.5	42	35.9	0	0.0	180	39.8	11	37.9	20	62.5	9	36.0	9	50.0	0	0.0	49	46.7
要望なし	30	69.8	90	57.0	74	56.5	75	64.1	3	100.0	272	60.2	18	62.1	12	37.5	16	64.0	9	50.0	1	100.0	56	53.3
合計	43	100	158	100	131	100	117	100	3	100	452	100	29	100	32	100	25	100	18	100	1	100	105	100

大学院生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
開館日要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	10	62.5	51	57.3	34	54.0	54	54.0	1	20.0	150	54.9	2	100.0	6	31.6	3	21.4	7	30.4	0	0.0	18	30.5
要望なし	6	37.5	38	42.7	29	46.0	46	46.0	4	80.0	123	45.1	0	0.0	13	68.4	11	78.6	16	69.6	1	100.0	41	69.5
合計	16	100	89	100	63	100	100	100	5	100	273	100	2	100	19	100	14	100	23	100	1	100	59	100

○ 大学院生は利用頻度が高いほど開館日に要望があると感じている傾向が見られる。

質問3．利用頻度と質問32-3．開館時間要望について

学部生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
開館時間要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	13	30.2	59	38.6	39	30.5	29	25.4	0	0.0	140	31.8	16	55.2	15	44.1	8	32.0	7	38.9	0	0.0	46	43.0
要望なし	30	69.8	94	61.4	89	69.5	85	74.6	2	100.0	300	68.2	13	44.8	19	55.9	17	68.0	11	61.1	1	100.0	61	57.0
合計	43	100	153	100	128	100	114	100	2	100	440	100	29	100	34	100	25	100	18	100	1	100	107	100

大学院生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
開館時間要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	7	43.8	38	44.2	22	36.1	29	29.6	1	20.0	97	36.5	0	0.0	3	15.8	2	14.3	5	20.8	0	0.0	10	16.7
要望なし	9	56.3	48	55.8	39	63.9	69	70.4	4	80.0	169	63.5	2	100.0	16	84.2	12	85.7	19	79.2	1	100.0	50	83.3
合計	16	100	86	100	61	100	98	100	5	100	266	100	2	100	19	100	14	100	24	100	1	100	60	100

○ 三田の学部生と上ケ原の大学院生は利用頻度が高いほど開館時間に要望があると感じている傾向が見られる。

質問3．利用頻度と質問35．満足度について

学部生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
満足度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
満足	11	26.2	40	25.5	34	25.8	21	18.1	2	66.7	108	24.0	1	3.3	3	8.3	3	12.5	1	5.3	0	0.0	8	7.3
やや満足	13	31.0	93	59.2	81	61.4	81	69.8	1	33.3	269	59.8	16	53.3	20	55.6	13	54.2	12	63.2	1	100.0	62	56.4
やや不満	14	33.3	21	13.4	17	12.9	13	11.2	0	0.0	65	14.4	11	36.7	11	30.6	8	33.3	5	26.3	0	0.0	35	31.8
不満	4	9.5	3	1.9	0	0.0	1	0.9	0	0.0	8	1.8	2	6.7	2	5.6	0	0.0	1	5.3	0	0.0	5	4.5
合計	42	100	157	100	132	100	116	100	3	100	450	100	30	100	36	100	24	100	19	100	1	100	110	100

大学院生

利用頻度	上ケ原												三田											
	ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計		ほぼ毎日		週二三日		週一日		月一二日		利用無し		合計	
満足度	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
満足	2	12.5	21	23.3	10	15.9	32	31.7	2	50.0	67	24.5	0	0.0	3	15.8	2	14.3	3	12.0	1	100.0	9	14.8
やや満足	13	81.3	52	57.8	39	61.9	48	47.5	1	25.0	153	55.8	1	50.0	11	57.9	11	78.6	14	56.0	0	0.0	37	60.7
やや不満	1	6.3	14	15.6	11	17.5	17	16.8	1	25.0	44	16.1	1	50.0	5	26.3	0	0.0	6	24.0	0	0.0	12	19.7
不満	0	0.0	3	3.3	3	4.8	4	4.0	0	0.0	10	3.6	0	0.0	0	0.0	1	7.1	2	8.0	0	0.0	3	4.9
合計	16	100	90	100	63	100	101	100	4	100	274	100	2	100	19	100	14	100	25	100	1	100	61	100.1

○ 特になし。

質問8．レファレンスカウンター利用と質問20．データベース利用について

レファレンス	学部生　上ケ原						学部生　三田						大学院生　上ケ原						大学院生　三田					
	利用したことあり		利用したことなし		合計		利用したことあり		利用したことなし		合計		利用したことあり		利用したことなし		合計		利用したことあり		利用したことなし		合計	
データベース	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	71	41.3	67	24.2	138	30.7	28	58.3	19	30.6	47	42.7	171	81.8	35	57.4	206	76.3	32	74.4	9	52.9	41	68.3
利用したことなし	50	29.1	78	28.2	128	28.5	11	22.9	20	32.3	31	28.2	27	12.9	16	26.2	43	15.9	9	20.9	6	35.3	15	25.0
存在知らなかった	51	29.7	132	47.7	183	40.8	9	18.8	23	37.1	32	29.1	11	5.3	10	16.4	21	7.8	2	4.7	2	11.8	4	6.7
合計	172	100.1	277	100.1	449	100	48	100	62	100	110	100	209	100	61	100	270	100	43	100	17	100	60	100

○ レファレンスカウンターを利用しことのある人の方がデータベースを利用した人の割合が高く、データベースの認知度も高い。

質問8．レファレンスカウンター利用と質問21．電子ジャーナル利用について

レファレンス	学部生　上ケ原						学部生　三田						大学院生　上ケ原						大学院生　三田					
	利用したことあり		利用したことなし		合計		利用したことあり		利用したことなし		合計		利用したことあり		利用したことなし		合計		利用したことあり		利用したことなし		合計	
電子ジャーナル	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことあり	11	6.4	9	3.2	20	4.5	11	22.9	4	6.5	15	13.6	54	26.0	10	16.4	64	23.8	30	69.8	1	5.9	31	51.7
利用したことなし	48	27.9	66	23.8	114	25.4	16	33.3	21	33.9	37	33.6	84	40.4	29	47.5	113	42.0	8	18.6	9	52.9	17	28.3
存在知らなかった	113	65.7	202	72.9	315	70.2	21	43.8	37	59.7	58	52.7	70	33.7	22	36.1	92	34.2	5	11.6	7	41.2	12	20.0
合計	172	100	277	100	449	100	48	100	62	100	110	100	208	100	61	100	269	100	43	100	17	100	60	100

○ レファレンスカウンターを利用しことのある人の方が電子ジャーナルを利用した人の割合が高く、データベースの認知度も高い。

質問25．日曜開館と質問32-1．開館日要望について

日曜開館	学部生　上ケ原						学部生　三田						大学院生　上ケ原						大学院生　三田					
	知っていた		知らなかった		合計		知っていた		知らなかった		合計		知ってた		知らなかった		合計		知っていた		知らなかった		合計	
開館日要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	81	39.1	99	40.4	180	39.8	26	59.1	23	37.7	49	46.7	95	63.3	69	56.1	164	60.1	9	52.9	23	56.1	32	55.2
要望なし	126	60.9	146	59.6	272	60.2	18	40.9	38	62.3	56	53.3	55	36.7	54	43.9	109	39.9	8	47.1	18	43.9	26	44.8
合計	207	100	245	100	452	100	44	100	61	100	105	100	150	100	123	100	273	100	17	100	41	100	58	100

○ 三田の学部生と上ケ原の大学院生は日曜開館を知っている人ほど開館日の要望のある人の割合が高い。

質問40．住居と質問32-1．開館日要望について

	学部生　上ケ原						学部生　三田						大学院生　上ケ原						大学院生　三田					
住居	自宅		自学外		合計		自宅		自学外		合計		自宅		自学外		合計		自宅		自学外		合計	
開館日要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	113	35.9	67	48.6	180	39.7	25	44.6	24	49.0	49	46.7	112	54.6	38	55.9	150	54.9	11	37.9	7	23.3	18	30.5
要望なし	202	64.1	71	51.4	273	60.3	31	55.4	25	51.0	56	53.3	93	45.4	30	44.1	123	45.1	18	62.1	23	76.7	41	69.5
合計	315	100	138	100	453	100	56	100	49	100	105	100	205	100	68	100	273	100	29	100	30	100	59	100

○ 特になし。

質問40．住居と質問32-3．開館時間要望について

	学部生　上ケ原						学部生　三田						大学院生　上ケ原						大学院生　三田					
住居	自宅		自学外		合計		自宅		自学外		合計		自宅		自学外		合計		自宅		自学外		合計	
開館時間要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	89	29.2	51	37.5	140	31.7	27	46.6	19	38.8	46	43.0	67	33.2	30	46.9	97	36.5	6	20.0	4	13.3	10	16.7
要望なし	216	70.8	85	62.5	301	68.3	31	53.4	30	61.2	61	57.0	135	66.8	34	53.1	169	63.5	24	80.0	26	86.7	50	83.3
合計	305	100	136	100	441	100	58	100	49	100	107	100	202	100	64	100	266	100	30	100	30	100	60	100

○ 特になし。

質問41．通学時間と質問32-1．開館日要望について

	学部生　上ケ原												学部生　三田											
通学時間	30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計		30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計	
開館日要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	68	54.4	32	33.3	40	35.1	32	37.2	8	25.0	180	39.7	16	57.1	7	29.2	8	47.1	11	55.0	6	40.0	48	46.2
要望なし	57	45.6	64	66.7	74	64.9	54	62.8	24	75.0	273	60.3	12	42.9	17	70.8	9	52.9	9	45.0	9	60.0	56	53.8
合計	125	100	96	100	114	100	86	100	32	100	453	100	28	100	24	100	17	100	20	100	15	100	104	100

	大学院　上ケ原												学部生　三田											
通学時間	30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計		30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計	
開館日要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	39	52.7	31	52.5	39	58.2	30	54.5	11	61.1	150	54.9	7	26.9	2	22.2	4	44.4	3	37.5	2	28.6	18	30.5
要望なし	35	47.3	28	47.5	28	41.8	25	45.5	7	38.9	123	45.1	19	73.1	7	77.8	5	55.6	5	62.5	5	71.4	41	69.5
合計	74	100	59	100	67	100	55	100	18	100	273	100	26	100	9	100	9	100	8	100	7	100	59	100

○ 特になし。

質問41．通学時間と質問32-3．開館時間要望について

	学部生　上ケ原												学部生　三田											
通学時間	30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計		30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計	
開館時間要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	53	43.1	18	19.4	31	28.2	29	34.5	9	29.0	140	31.7	11	39.3	9	36.0	9	52.9	9	42.9	7	46.7	45	42.5
要望なし	70	56.9	75	80.6	79	71.8	55	65.5	22	71.0	301	68.3	17	60.7	16	64.0	8	47.1	12	57.1	8	53.3	61	57.5
合計	123	100	93	100	110	100	84	100	31	100	441	100	28	100	25	100	17	100	21	100	15	100	106	100

	大学院　上ケ原												学部生　三田											
通学時間	30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計		30分未満		1時間未満		1時間半未満		2時間未満		2時間以上		合計	
開館時間要望	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
要望あり	32	44.4	20	35.1	23	34.8	17	32.1	5	27.8	97	36.5	3	11.5	1	11.1	3	33.3	2	22.2	1	14.3	10	16.7
要望なし	40	55.6	37	64.9	43	65.2	36	67.9	13	72.2	169	63.5	23	88.5	8	88.9	6	66.7	7	77.8	6	85.7	50	83.3
合計	72	100	57	100	66	100	53	100	18	100	266	100	26	100	9	100	9	100	9	100	7	100	60	100

○ 特になし。

表３－２（満足度・認知度の期待値）

	今回の基準	次回の目標
質問　7	80	85
質問　9	80	85
質問１０	70	80
質問１３	90	90
質問１４	90	90
質問１９	70	70
質問２０	70	70
質問２１	70	70
質問２２	60	60
質問２３	60	70
質問２４	50	60
質問２５	60	90
質問２７－１	70	80
質問２７－２	70	80
質問２７－２	70	80
質問２８－１	70	80
質問２８－１	80	90
質問２９	80	90
質問３０	80	90
質問３１	70	70
質問３３－１	100	100
質問３３－２	70	80
質問３３－２	70	80
質問３３－４	70	80
質問３４	70	70
質問３５	70	80

表3－4（満足度［質問35］と記述回答の関係）

	学部生				院生				NA				合計				
	○	△	×	計	○	△	×	計	○	△	×	計	○	△	×	計	
1満足	4	0	140	144	3	0	73	76	0	0	0	0	7	0	213	220	815
2やや満足	9	9	351	369	14	5	198	217	0	0	9	9	23	14	558	595	
3やや不満	10	3	145	158	6	3	103	112	0	0	0	0	16	6	248	270	369
4不満	1	2	49	52	3	0	44	47	0	0	0	0	4	2	93	99	
NA	0	1	2	3	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	3	5	
計	24	15	687	726	26	9	419	454	0	0	9	9	50	24	1115	1189	

合計				
○	△	×	計	
7	0	213	220	815
23	14	558	595	
16	6	248	270	369
4	2	93	99	
0	2	3	5	
50	24	1115	1189	

【４】アンケート質問回答用紙

関西学院大学図書館利用実態調査

2004 年 12 月

《お願い》

年末のあわただしい時期となりましたが、ますますご活躍のことと思います。

関西学院大学図書館では、図書館をとりまく状況について調査を進め、図書館が提供する資料やサービスについて改善をはかるべく努めております。

さて、このたび「大学図書館利用実態調査」を実施することになり、全学生を母集団とした無作為抽出法によってあなたを含めて約 3,000 名を回答者に選ばせていただきました。本学学生の一人として大学図書館に対する率直なご回答をお寄せください。この調査により大学図書館利用者の実状を知り、可能な限り今後のサービス改善につなげたいと考えています。

なお、頂いた回答の集計分析はコンピュータを用いて統計的に処理されますので、個人的にご迷惑をおかけすることは決してありません。

また、お送りいただいた回答用紙は統計処理の後は責任を持って消却処分いたします。

この調査の集計結果は「大学図書館のホームページ」や「関西学院大学図書館報『時計台』」で公表する予定にしています。

年末で何かとご多忙のこととは存じますが、何とぞご協力くださいますようお願いいたします。

関西学院大学図書館長　井上　琢智

《回答の記入について》

１　回答の選択肢が印刷されている質問では、自分の選んだ行動や自分の気持ちに最も近いものを選んで、その番号（数字）を○で囲んでください。

２　回答のうち「その他」を選んだとき、あるいは数字等を具体的に述べるときは（　　）内に記入してください。

提出期限：２００４年１２月２０日（月）必着

提出方法：同封の返信用封筒をご利用ください。

また、西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館の貸出返却カウンターまで直接お持ちいただいても結構です。

問合せ先：〒662-8501　西宮市上ケ原一番町 1－155

関西学院大学図書館

電話　0798（54）6121（月～金：8:50～16:50　土：8:50～12:20）

【４】アンケート質問回答用紙

質問１．　あなたは主に西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館のどちらを利用しますか。

１．西宮上ケ原キャンパス大学図書館　　２．神戸三田キャンパス図書メディア館

質問２．　もっとも最近あなたが利用した図書館は西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館のどちらですか。

１．西宮上ケ原キャンパス大学図書館　　２．神戸三田キャンパス図書メディア館

このアンケートでは特に断りがない限り上の質問１でよく利用するとお答えいただいた図書館を想定してお答えください。

質問３．　２００４年４月から１１月までのことを思いおこしてください。あなたは、この間に図書館をどのくらいの頻度で利用しましたか。

１．ほぼ毎日利用した　２．週に２、３日利用した　３．週に１日くらい利用した ４．月に１、２日利用した　５．一度も利用したことがない

質問４．　もっとも最近図書館を利用したときのことを思い出して、何を利用したか、または何のために利用したか、についてお答えください。

① 図書を利用した	１．はい	２．いいえ
② 雑誌（最新号、バックナンバー）を利用した	１．はい	２．いいえ
③ 新聞を利用した	１．はい	２．いいえ
④ 視聴覚資料（ビデオ・ＤＶＤ等）を利用した	１．はい	２．いいえ
⑤ 貸出返却カウンターを利用した （貸出・返却・予約の手続き等）	１．はい	２．いいえ
⑥ レファレンスカウンターを利用した （利用相談、キャンパス間取り寄せ、相互利用等）	１．はい	２．いいえ
⑦ 閲覧座席を利用した	１．はい	２．いいえ
⑧【この質問⑧は、大学院生の方のみお答えください】 研究個室を利用した	１．はい	２．いいえ
⑨ グループ閲覧室を利用した	１．はい	２．いいえ
⑩ パソコンを利用した	１．はい	２．いいえ
⑪ 友達との待ち合わせ場所、または授業の合間の居場所として利用した	１．はい	２．いいえ
⑫【もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の人のみお答えください】 語学科目のプレゼンテーションビデオ、教員指定の教材ビデオを利用した	１．はい	２．いいえ
⑬【もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の人のみお答えください】 スキャナ・ＤＶ編集ＰＣ・カラープリンタ等マルチメディア機器を利用した	１．はい	２．いいえ
⑭【もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の人のみお答えください】 閲覧座席の情報コンセントを利用した	１．はい	２．いいえ
⑮【もっとも最近利用した図書館が神戸三田キャンパス図書メディア館の人のみお答えください】 ＰＣ相談カウンターで利用相談をした	１．はい	２．いいえ
⑯ 上記以外のものを、もしくは上記以外の目的で利用した（　　）		

質問５．　図書館内での私語や、携帯電話での通話についてどのように思われますか。

１．気になる　　２．気にならない

質問６．　これまでに貸出返却カウンターを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない

【４】アンケート質問回答用紙

質問７.【この質問は、質問６．で「１．利用したことがある」と答えられた方のみお答えください。】
もっとも最近貸出返却カウンターを利用した際の職員の応対をどのように感じられましたか。

１．親切だった　　２．親切ではなかった

質問８．　これまでにレファレンスカウンターを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない

質問９.【この質問は、質問８．で「１．利用したことがある」と答えられた方のみお答えください。】
もっとも最近レファレンスカウンターを利用した際の職員の応対をどのように感じられましたか。

１．親切だった　　２．親切ではなかった

質問１０.【この質問は、質問８．で「１．利用したことがある」と答えられた方のみお答えください。】
もっとも最近レファレンスカウンターを利用した際に期待した回答は得られましたか。

１．得られた　　２．得られなかった

質問１１.【この質問は、質問１．で「主に使う図書館が西宮上ケ原キャンパス大学図書館である」と答えられた方のみお答えください。】
もっとも最近館内の OPAC（オンライン目録検索システム）専用端末はあなたが利用しようと思ったときに利用できましたか。

１．利用できた　　２．利用できなかった

質問１２．　もっとも最近館内のパソコン（西宮上ケ原キャンパス大学図書館の場合は OPAC 専用端末以外のパソコン）はあなたが利用しようと思ったときに利用できましたか。

１．利用できた　　２．利用できなかった

質問１３．　これまでに図書館の視聴覚資料利用コーナーを利用されたことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．その存在を知らなかった

質問１４．　これまでにグループ閲覧室を利用されたことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．その存在を知らなかった

質問１５．　もっとも最近図書を探したときにその資料はありましたか。

１．あった　　２．なかった　　３．探したことがない

質問１６．　もっとも最近雑誌を探したときにその資料はありましたか。

１．あった　　２．なかった　　３．探したことがない

質問１７．　もっとも最近視聴覚資料を探したときにその資料はありましたか。

１．あった　　２．なかった　　３．探したことがない

質問１８．　図書館の資料（図書、雑誌、視聴覚資料等）は十分揃っていると思いますか。

１．揃っている　　２．揃っていない

質問１９．　これまでに図書館で CNN 等の外国語テレビ放送を利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．その存在を知らなかった

質問２０．　図書館では外部機関と契約しオンライン・データベースを、ホームページを通じて提供しています。これらのデータベースを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．その存在を知らなかった

【４】アンケート質問回答用紙

質問２１．　図書館では一部の外国語雑誌を電子ジャーナルとしてホームページを通じて提供しています。これまでに電子ジャーナルを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．その存在を知らなかった

質問２２．　これまでに関西学院大学図書館報『時計台』を今までに読んだことがありますか。

１．読んだことがある　　２．読んだことがない　　３．その存在を知らなかった

質問２３．　今年 10 月 8 日～11 月 27 日に図書館(西宮上ケ原キャンパス)で行われた秋季特別展示「創立者ウォルター・Ｒ・ランバスのたどった足跡」を見ましたか。

１．見た　　２．見なかった　　３．その存在を知らなかった

質問２４．　今年 11 月 18 日に図書館(西宮上ケ原キャンパス)で行われた学術資料講演会「ウォルター・Ｒ・ランバスの瀬戸内伝道圏構想」が行われたことを知っていましたか。

１．知っていた　　２．知らなかった

質問２５．　2004 年度から一部の日曜日に開館していることを知っていますか。

１．知っていた　　２．知らなかった

質問２６．【この質問は、質問２５．で「１．知っていた」と答えられた方にお聞きします。】
日曜の開館は何によって知りましたか。

１．図書館ホームページ　２．関学ジャーナル　３．館内掲示　４．口コミ　５．その他（　　）

［相互利用制度について］

個々の大学図書館が収集できる図書・資料には限りがあります。そこで相互協力の協定を結び、他の図書館等の図書・資料を利用することができます。以下の質問にお答えください。

質問２７－１．これまでに相互利用制度により他の図書館等からの文献複写サービスを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのようなサービスの存在を知らなかった

質問２７－２．これまでに相互利用制度により他の図書館等からの図書貸借サービスを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのようなサービスの存在を知らなかった

質問２７－３．これまでに相互利用制度により本学図書館からの紹介状を持参して他の図書館等を利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのようなサービスの存在を知らなかった

［学内相互利用制度について］

レファレンスカウンターでは、西宮上ケ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書メディア館の間でも、文献複写、図書・資料取り寄せを利用できるようにしています。以下の質問にお答えください。

質問２８－１．これまでに学内相互利用制度により他キャンパスからの文献複写サービスを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのようなサービスの存在を知らなかった

質問２８－２．これまでに学内相互利用制度により他キャンパスからの図書・資料取り寄せサービスを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのようなサービスの存在を知らなかった

［利用相談について］

レファレンスカウンターでは、質問や相談を受付け、必要な情報を探し出す方法や手段のアドバイス(書誌調査、所蔵調査等)を行っています。以下の質問にお答えください。

質問２９．レファレンスカウンターで利用相談をしたことがありますか。

１．利用相談をしたことがある　　２．利用相談をしたことがない　　３．その存在を知らなかった

【４】アンケート質問回答用紙

［購入希望図書・資料の申し込みについて］

レファレンスカウンターでは、図書館が所蔵していない図書・資料で、学習・研究に必要なものについては、購入希望の申し込みを受け付けています。以下の質問にお答えください。

質問３０．これまでに購入希望図書・資料の申し込みをしたことがありますか。

１．ある　　２．ない　　３．その存在を知らなかった

質問３１．【この質問は、質問１．で「主に使う図書館が西宮上ケ原キャンパス大学図書館である」と答えられた方のみお答えください。】
これまでに図書館主催の「オンライン目録講習会」、「文献の探し方講習会・オンラインデータベース講習会」を受講したことがありますか（いずれかひとつでも受講したことがあれば「ある」としてください）。

１．ある　　２．ない　　３．その存在を知らなかった

質問３２－１．開館日について要望がありますか。

１．要望がある　　２．要望がない（今のままでよい）

質問３２－２．【この質問は、質問３２－１．で「１．要望がある」と答えられた方のみお答えください。】
どのような要望をお持ちですか（複数回答可）。

１．日曜の開館を増やして欲しい　２．年末年始期間の開館日を増やして欲しい　３．夏季休暇期間の開館日を増やして欲しい ４．その他（　　）

質問３２－３．開館・閉館の時間について要望がありますか。

１．要望がある　　２．要望がない（今のままでよい）

質問３２－４．【この質問は、質問３２－３．で「１．要望がある」と答えられた方のみお答えください。】
どのような要望をお持ちですか（複数回答可）。

１．開館時間を早くして欲しい（　　時　　分から）　２．閉館時間を遅くして欲しい（　　時　　分まで） ３．その他（　　）

質問３３－１．図書館所蔵の図書・資料をＯＰＡＣ（オンライン目録検索システム）を使ってキーワードから検索することができます。
これまでにＯＰＡＣを利用したことがありますか。

１．利用したことがある　２．利用したことがない　３．その存在を知らなかった

質問３３－２．【この質問は、質問３３－１．で「１．利用したことがある」と答えられた方のみお答えください。】
ＯＰＡＣの画面から図書の予約を行なうことができます。これまでにこの機能を利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのような機能があることを知らなかった

質問３３－３．【この質問は、大学院生の方で、かつ質問３３－１．で「１．利用したことがある」と答えられた方のみお答えください。】
ＯＰＡＣの画面から他の図書館等が所蔵する図書・資料の複写依頼を行なうことができます。これまでにこの機能を利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのような機能があることを知らなかった

質問３３－4．【この質問は、質問３３－１．で「１．利用したことがある」と答えられた方のみお答えください。】
ＯＰＡＣの画面から自分が借りている図書・資料等の状況を確認すること（「利用問い合わせ」）ができます。これまでにこの機能を利用したことがありますか。

１．利用したことがある　　２．利用したことがない　　３．そのような機能があることを知らなかった

質問３４．【この質問は、質問１．で「主に使う図書館が西宮上ケ原キャンパス大学図書館である」と答えられた方のみお答えください。】
図書・資料の探し方、分野別資料の紹介等を載せたパンフレット『図書館の歩き方』を知っていますか。

１．知っている　　２．知らなかった

【４】アンケート質問回答用紙

質問３５．図書館についてどの程度満足していますか。

１．満足　　２．やや満足　　３．やや不満　　４．不満

質問３６．図書館に対してご意見、ご要望があれば、自由にお書きください。

（　　）

質問３７．あなたの所属学部または研究科をお答えください。

１．神学部　２．文学部　３．社会学部　４．法学部　５．経済学部　６．商学部　７．理工学部　８．総合政策学部 ９．神学研究科　１０．文学研究科　１１．社会学研究科　１２．法学研究科　１３．経済学研究科　１４．商学研究科 １５．理工学研究科　１６．総合政策研究科　１７．言語コミュニケーション文化研究科　１８．司法研究科（ロースクール）

質問３８．あなたの学年をお答えください。

１．学部1年　２．学部2年　３．学部3年　４．学部4年　５．大学院前期課程1年　６．大学院前期課程2年　７．大学院後期課程1年　８．大学院後期課程2年　９．大学院後期課程3年　１０．専門職学位課程1年　１１．専門職学位課程2年

質問３９．あなたの性別をお答えください。

１．男性　　２．女性

質問４０．あなたは今どのような所に住んでいますか。

１．自宅　　２．自宅外（下宿、親戚・知人の家、学生寮等）

質問４１．通学の片道所要時間はどのくらいですか。

１．３０分未満　２．３０分以上1時間未満　３．1時間以上1時間３０分未満　４．1時間３０分以上2時間未満 ５．2時間以上

質問４２．あなたは 2004 年度の春学期に一週間に平均して何講時（何コマ）くらい出席しましたか。

（　　）講時（コマ）くらい出席した

ご協力ありがとうございました。**12月20日(月)** までに到着するようご返送ください。

また、西宮上ケ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館の貸出返却カウンターまで直接お持ちいただいても結構です。